

宮城学院資料室年報

MIYAGI GAKUIN ARCHIVES OF HISTORY REVIEW

信 望 愛

2024 年度



宮城学院資料室年報

— 信・望・愛 —

(二〇二四年度)

第30号

宮城学院資料室



第30号

宮城学院資料室

宮城学院資料室年報

MIYAGI GAKUIN ARCHIVES OF HISTORY REVIEW

信

望

愛

2024 年度



第 30 号

宮城学院資料室

もくじ

□巻頭言	3
佐々木哲夫	
□論考	5
仏教とキリスト教 ―日本の多元的宗教文化―	
佐々木哲夫	
□2024年度宮城学院創立記念講演	22
宮城学院と私 ―リーダーシップの学びと経営者としての視点―	
佐藤 博美	
□論考	29
宮城学院女子大学における「自校史教育」の実践	
―「主体的な学び」の実現に向けた試行錯誤の軌跡	
小羽田誠治	
□論考	41
宮城女学校の戦時期学籍簿の検討 (3)	
―1937 (昭和12) 年から1941 (昭和16) 年入学生学籍簿一覧―	
佐藤 亜紀	
□小論	75
宮城学院女子大学構内に生息するサンショウウオの新種認定の経緯と	
これまでの調査研究	
藤原 愛弓	
□小論	81
宮城学院の植物たち その5 ―ヒメジョオン―	
松本 周 木村 春美	
□彙報	89
2024 (令和6) 年度彙報	
宮城学院資料室	

〔表紙〕宮城学院礼拝堂のステンドグラス 「降誕」
ガブリエル・ロワール(1980)



巻頭言

資料室運営員会委員長
理事長・学院長 佐々木哲夫

『2024 年度宮城学院資料室年報—信望愛—』を皆様の許にお届けできますことは神様の恵みと感謝する次第です。本年度の『年報』には下記の 6 編が寄せられました。

佐々木哲夫「仏教とキリスト教」は宮城学院キリスト教講座での講演内容に加筆修正を施した論考です。「私は無神論者です」との発言は、自然宗教に淵源する日本の宗教文化的発言で「私は創唱宗教の信者ではない」の意味に解されます。日本の多元的宗教文化についての論考です。

佐藤博美氏は、1986 年 3 月年に宮城学院女子大学学芸学部家政学科を卒業後ただちに東通企画株式会社に入社し、現在、代表取締役社長としてご活躍中です。2024 年 9 月 18 日の宮城学院創立 138 年記念式において「宮城学院と私—リーダーシップの学びと経営者としての視点—」との演題でご講演いただきました。自由に伸び伸びと大学生活を過ごされた経験がその後社会での活動の原動力さらには未来へ繋がる発想力の基になったとのお話に励まされた次第です。

小羽田誠治先生「宮城学院女子大学における『自校史教育』の実践—『主体的な学び』の実現に向けた試行錯誤の軌跡」は、コロナ禍期の 2020 年度に始まった授業「自校史教育」の実践と展望に関する前号の報告に続くものです。本号では 2022 年度からの 3 年間（ポストコロナ禍期）のオンラインから対面に戻った授業の成果や課題に関し「シラバス」「授業評価」「工夫」などの情報が提供されています。

佐藤亜紀氏「宮城女学校の戦時期学籍簿の検討 (3) —1937 (昭和 12) 年から 1941 年 (昭和 16) 年入学生学籍簿一覧—」は、宮城女学校生徒 416 名の学籍簿に記載されている情報、特に入学前学歴、親の職業、卒業後の状況などを一覧表にまとめたもので、2021 年度から 4 年間取り組んできた調査の最終報告です。

藤原愛弓氏「宮城学院女子大学構内に生息するサンショウウオの新種認定の経緯とこれまでの調査研究」は、表題が示すとおり宮城学院桜ヶ丘キャンパスに生息するサンショウ

ウオが新種であり、「センザン〔仙山〕サンショウウオ」と命名された経緯および生息地の保全の必要性が詳述されております。また、ミツバチに関する調査研究の動向についての報告も記されてあります。

木村春美先生、松本周先生「宮城学院の植物たち その5—ヒメジョオン—」は、水の森公園に連なる桜ヶ丘キャンパスの豊かな自然を紹介する連続稿です。ヒメジョオンは外来植物の雑草であり、その生命力は、星野富弘さんを励ましたように「生きる勇氣」を与えてくれます。「雑草という草はない」に関する論考です。

末筆ながら『2024年度宮城学院資料室年報—信望愛—』にご寄稿くださった皆様の熱意とご労苦に感謝の意を表します。宮城学院の歴史の調査研究・記録保存は、宮城学院資料室に託された時空を超越する使命であり引き続き皆様のご支援をお願いする次第です。



仏教とキリスト教—日本の多元的宗教文化—¹

佐々木哲夫

1 日本の多元的宗教文化

米国の神学校でのごと日本人とわかと「仏教徒 (buddhist) ですか」と問われたことが幾度かあった。「いいえ基督者です」の返答で会話は終了だが、その質問は私の仏教に関する知識の欠如を自覚させ、また元旦や七五三でのお宮参り、「きよしこの夜」を歌いケーキで祝うクリスマス、お盆や葬儀の仏事参列などをない交ぜにする日本の多元的宗教文化を自問させた。遠藤周作『沈黙』においてフィレイラ神父はロドリゴ司祭へ「この国は沼地だ。やがてお前にもわかるだろうな。この国は考えていたより、もっと恐ろしい沼地だった。どんな苗もその沼地に植えられれば、根が腐り始める。葉が黄ばみ枯れてゆく。我々はこの沼地に基督教という苗を植えてしまった」と語っている²。日本の多元的宗教文化のことである。

イザヤ・ベンダサン of ペンネームで知られる山本七平は、徳川家康の領地で起きた一向一揆に関する興味深い事例を挙げ分析している。一揆鎮圧の司令官が一向宗の熱心な信徒であることを知った家康は、激怒して改宗か切腹かの二者択一を迫った。部下の司令官は改宗を拒否し、座して首を差し出す。家康は振り上げた刀を鞘に収め「こんな頑固者は処刑してもしようがない」と語る。その瞬間、部下は「只今、改宗いたしました」という。そして、「命が惜しくて改宗したといわれることはサムライの意地が許さない。だがこれで私は、たとえ改宗しても、命惜しさに改宗したことではないことが明らかになりましたか

¹ 本稿は、宮城学院キリスト教講座 (2024 年 7 月 26 日) での講演「仏教とキリスト教」の内容に加筆修正を施したものである。

² 遠藤周作『沈黙』新潮出版社 1967 年 194 頁。長崎大浦天主堂近くの十六番館に展示されていた銅板の踏み絵にかすかに残されていた足指の黒ずんだ痕を見た遠藤周作は、「華々しく殉教した強者のことではなく、卑怯さ、肉体の弱さ、死への恐怖、家族を救いたい一心で、遂に信念を捨て、踏み絵に足をかけてしまった弱者たちに私の心は向けられた」と語る。「…『沈黙』の主人公として選んだクリストパン・フェレイラ神父とジョゼフ・キャラ神父 (小説中ではロドリゴという名になっている) が日本人に西洋医学や西洋天文学を教えた最初の西洋人たちの一人だったことを知る人は少ない。彼らは医師でも天文学者ではなかったが、しかし、神学校で習ったこれらの基礎知識も当時の日本人には驚くほど高いものだったはずである。そして、フェレイラの子孫が代々、医師であったのもおそらくそのためであろう。だがそれよりも『転びバテレン』である彼らが転んだあとも日本人に役に立とうとした心理に私は言い知れぬ切なさを感じる。彼らは日本人に役立とうと思ってこの遠い国に布教に来た。しかしそれが拷問によって挫折したあとも彼らには司祭の欲望が残っていたのである。人々のために役に立とうというあの司祭の欲望が…」遠藤周作「踏み絵が育てた想像『沈黙』」『朝日新聞 (第二部)』1967 年 8 月 25 日 1 頁。

ら改宗します」という。山本七平は次のように解説する³。

彼は、サムライの意地に殉教したのであって、一向宗に殉教したのではない。…私が『日本教』と呼ぶのは、この意地を支えている教義の基礎となっている一つの宗教—そのために日本人が殉教も辞さない一つの宗教を指します。…日本人が『私は自由主義者だ』『私はマルクス主義者だ』『私はクリスチャンだ』と自称しても、それは、それらはすべて、いわばこの場合の一向宗であって、日本教を表現するための方法にすぎないと考えています。

上記のようにさまざま論じられている日本の宗教文化を概観する。

原始神道

文字〔特に漢字〕は話者の思考や文化を表現し歴史を形成する⁴。文字の成立以前に遡って日本の宗教文化を考察することはそれゆえ容易ではない。列島成立の自然史、考古学の知見、中国史書の記事を調べることになる⁵。文字以前の森の文化に遡るのが縄文時代神道起源説である。権力集中や集団行動など稲作社会成立以前に古代神道があったと想定する⁶。他方、『漢書』地理誌（76-86）における「東夷」や「倭人」、『後漢書』東夷伝における光武帝による倭への金印下賜（57年）、『魏志』倭人伝（3世紀後半）の邪馬台国卑弥呼などの中国史書が注目されるのは江戸代前期である⁷。

儒教伝来

285年（応神天皇16年）百済から阿直岐、王仁らが来朝帰化し「論語十卷」と「千字文一巻」を献上したことが『古事記』に記されてある。正確な年代に関する議論はあるがこの頃に百済から支那文化が輸入されたことはほぼ間違いないとされている⁸。513年（継体天皇7年）、百済から五経博士数名が来朝する⁹。五経博士とは、儒家經典の五書物（詩・書・礼・易・春秋）を専門とする官職のことで、儒学者董仲舒の献策を受けた漢の武帝に

³ イザヤ・ベンダサン〔山本七平〕『日本教について』文藝春秋社1972年14-6頁。

⁴ 白川静『漢字百話』中央公論新社1978年3頁。

⁵ 清水正之『日本思想全史』ちくま書房2014年20-6頁。

⁶ 島蘭進『教養としての神道』東洋経済新報社2022年16-20頁。「縄文古神道というのは生活の道、生活そのものが『神随ら』の道として伝えられてきています。ですからこれを宗教の分野に入れるというのが、戦後の宗教法人法の間違いであります。」小林美元『古神道入門—神ながらの伝統』評言社、1998（平成10）年31頁。

⁷ 松下見林『異称日本伝』1688年（元禄元年）。松下見林（1637-1703）は、江戸時代に活躍した儒者、国学者、医師。『日本思想全史』26頁。

⁸ 倉石武四郎講義ノート整理刊行会『倉石武四郎講義—本邦における支那学の発展』汲古書院、2007年、1-2頁。

⁹ 『倉石武四郎講義』2-3頁。

よって置かれた学官だった¹⁰。経学が完成すると儒教における仁や孝という礼教性が濃くなり、儒教の深層にある宗教性が希薄になった¹¹。儒は巫祝を意味する言葉であり、古い呪的な儀礼や葬儀などに関連していた。すでに存在していた知識や徳目などの意識形態を統一し、為政者の教養のみならず人の純粋な思惟の世界に高めたのが孔子だった¹²。儒教の宗教性は、巫者の担った中国の土生土長の民族宗教に淵源し、方士や後の道士が担った宗教性と同根であった¹³。それゆえ、儒教の受容は、道教の宗教文化の移入に有利に働いたであろう。因みに、今日の道教起源の文化項目として、仙人、不老不死、福祿寿、十王信仰、鬼瓦、陰陽道、太極拳、鍼灸術、食餌療法、気、内経、風水、雨乞い、地鎮祭、おみくじ、お札などが挙げられる¹⁴。儒教や道教の宗教性は、通奏低音のように日本文化にも浸透した。

仏教伝来

仏教伝来には私伝と公伝がある。前者は『扶桑略記』に記されている。522年（継体天皇16年）に南梁の司馬達止が来朝し、大和の高市に草堂を建て仏像を安置し礼拝を行なったという¹⁵。後者の公伝としての仏教伝来は、聖徳太子の伝記である『上宮聖徳法王帝説』や『元興寺縁起』所収の『元興寺伽藍縁起并流記資財帳』の記載によるもので、欽明天皇7年戊午年（538年）に百済の聖明王から仏像や経典が送られてきたと記されてある。他方、『日本書紀』には、欽明天皇13年壬申年（552年）10月に百済の聖明王が使者を使わし、仏像や経典とともに仏教流通の功德を賞賛した上表文を献上したと記されてある。二つの記録の14年の差異に関し議論が提起されている¹⁶。異伝を姉妹関係とみなして共通する古伝を探るにしても「はじめての公伝」としては538年が推定される¹⁷。いずれの年代にせよ仏教は百済を通じて日本に移入され、その後の日本の宗教思想に影響を及ぼすこと

¹⁰ 秦の始皇帝は、方士の言説を排し焚書坑儒を行なった。六経のうちの『楽経』がこの時に失われ五経になった。他方、前漢の武帝の時代には、国家の正当性を担保するために儒家に基づく国家制度が整備され、儒家の五経に博士が置かれた。また、経書に対する緯書が編纂され、孔子や方士の伝統に仮託しつつ排他的に儒教による国家建設が行われた。中島隆博『中国哲学史—諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで—』中央公論新社、2022年、134-6頁。

¹¹ 加地伸行『儒教とは何か』中央公論新社、1990年、174-6頁。加地伸行『沈黙の宗教—儒教』筑摩書房、2011年、128-35頁。

¹² 白川静『孔子伝』中央公論社、1991年、110-1。「仁というのは孔子が発明した語であるらしい。…従来その意味に用いられることのない仁の字を、最高の徳目の名としたのは『仁は人なり』といわれるように、同音の関係によって、いわば全人間的なありかたを表現するにふさわしい語と考えたからであろう。』『孔子伝』112-3頁。

¹³ 松本浩一『中国人の宗教・道教とは何か』PHP研究所、2006年、134-5頁。

¹⁴ 神道国際学会『道教と日本文化』たちばな出版、2005年。坂出祥伸『日本と道教文化』角川学芸出版、2010年。

¹⁵ 『倉石武四郎講義』3、103頁。

¹⁶ 藺田香融「東アジアにおける仏教の伝来と受容—日本仏教の伝来とその史的前提—」『関西大学東西学術研究所紀要』22号、1989年、19-33頁。

¹⁷ 「東アジアにおける仏教の伝来と受容」23頁。

になる。例えば、輪廻の思想や本地垂迹の思想である。

前者の輪廻思想は、自然神宗教のヒンドゥー教が依拠するリグヴェーダの記す五火二道説に淵源する。リグヴェーダの記述によると祖霊界（あの世）と地上界（この世）とはかなり自由に行き来することができた。祭火によって供物は天に届けられ、供物によって元気づけられた天は、供物によって生じた雨を降らせ地を元気づける。しかし、地上に残る子孫の「祭式と贈与の功德」が天において尽きるとき、死後の個人は再び天界において死に、地上に生まれ変わるといふ。この再死と再生の連続が発展して転生の概念が成立する¹⁸。「祭火によって供物は天（月）に至り、雨となって地に降り、食物となり、男に食べられて精液となり、女に注がれて息子が生まれる」との五火説になる¹⁹。

人の発生過程を説く五火説は、人の死後を説く二道説と接合された。二道説は、死後に人が火葬の火から太陽に向かい不死の世界に入る「炎の道」（＝「神々の道」）を進むか、もしくは「煙の道」（＝「祖霊の道」）を通り地上に再生するかの二つの道を想定する²⁰。個人の主体〔アートマン（我）〕が宇宙を支配する永遠の原理（梵天界）〔ブラフマン〕と合一し再びこの世に戻らない、すなわち天界の不死へと至ること（梵我一如）が解脱とされた。

祭儀と善行によって祖霊の道を得るのに対し、知や信仰によって神格を得るといふ明知優位も想定された²¹。明知もなく行祭もしない者は、第三の道として小生物に生まれるといふ²²。五火二道の転生の思想は、「業に応じて死後に転生するのは無限の苦」と考える後代の日本仏教において六道輪廻として受容された²³。霊魂の観念がリグヴェーダやブッダに認められるかについては議論がある²⁴。また、死後の霊魂は、ソクラテスやプラトンな

¹⁸ 坂本（後藤）純子『生命エネルギー循環の思想—「輪廻と業」理論の起源と形成—』龍谷大学現代インド研究センター、2015年、8頁。

¹⁹ 『生命エネルギー循環の思想』13頁。

²⁰ 『生命エネルギー循環の思想』128頁、62-64頁。

²¹ 村上真完「五火二道説の展開」『印度學佛教學研究』27(2)号（1979年）、549（47）頁。

²² 「五火二道説の展開」552（50）頁。

²³ 田中孝海「印度系思想の日本的受容（1 輪廻・転生）」『印度學佛教學研究』20(1)号（1971年）390頁。「中国仏教における六道観は、須弥山説に基づいたインドの宇宙論から、中国の伝統的来世観の中で、霊魂観や冥界観として捉えられ、霊魂が輪廻して死後の世界を形成している。」鈴木あゆみ「中国仏教における六道観の一考察—死後の世界としての六道—」『印度學佛教學研究』54(2)号（2006年）45頁。輪廻思想が日本に入ったのは奈良時代の法相宗により、定着したのは平安時代の源信による『厭離穢土』『往生要集』（985年）と言われている。「輪廻説は、第一に、釈尊をはじめとする聖者がその天眼通によって観察した上で説かれた教えだということ、第二に、浄土真宗の祖師方が例外なく継承している教えだということ」と解説され、無我論と矛盾しないことが論じられている。松尾宣昭「仏教・浄土真宗における『輪廻転生』の説示」『京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要』32号 2019年 56頁。「6つの世界（道）〔地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上〕を有情の万物は車輪の回転の如くに流転する。このような生死の世界に住むのは有情にとって辛いことです。」大谷暢順『六道輪廻』講談社、2009年、2-3頁。竹倉史人「輪廻転生について」『現代宗教研究』56号、2022年、225頁。

²⁴ ヴェーダ「jīva（生命、命我）が離れるとこの〔身は〕死ぬというが、jīva は死なない」の記述が霊魂の存在を示しているとの説明がある。「五火二道説の展開」49-50頁。上座仏教の経蔵の

どギリシア思想における靈魂不滅説を連想させる。ギリシアの靈魂不滅説に対してはキリスト教の死者復活説が相対する²⁵。

後者の本地垂迹の概念は、以下のように説明されている²⁶。

本地即本有の妙理無始無終の絶対的なる仏陀が、人間を利益し衆生を済度せんが為に、迹を諸所に垂れて、神となって種々の形を顕すというので、我邦の神祇は、其の本源をたづぬればみな仏菩薩にあり、仏も神も帰する処は一つであるといふのである。…理想的仏陀を本地とし、…歴史的釈迦を垂迹とするのである。日本の本地垂迹は、この説を拡張したのである。

歴史的釈迦は、本来的超人者としての仏陀の権化ないし化身または垂迹であるという。初期の中国仏教において夷狄国インド宗教の流布は、漢民族の儒教思想や中華思想のゆえに不振だった。仏僧らは、布教において方士や道士のような呪術や奇術を用いて靈験を示し人々の歓心を集めた²⁷。平安時代初期に最澄が伝えた天台宗は法華経を根本經典とした。法華経前半の迹門では歴史上の人間としての釈迦が説かれ、後半の本門では永遠の仏陀が説かれている。迹門と本門との考え方が適用され、仏を本地、神を垂迹とする考え方が生まれてきた。また、仏本来の姿を「自性輪身」、衆生を救済する菩薩の姿を「正法輪身」、調伏しがたい衆生を屈服させる明王の姿を「教令輪身」と考える密教の「三輪仏」、すなわち大日如来（自性輪身）は同時に般若菩薩（正法輪身）であり不動明王（教令輪身）であると解する真言密教の教説も本地垂迹説に影響を与えた²⁸。

本地垂迹の思想は、基督教との関係にも影響を与えた。例えば、聖書邦訳黎明期のヤジロー訳においてデウスが「大日」と邦訳されたことが挙げられる²⁹。イエズス会宣教師フ

『スッタニパータ』の記述よりブッダは輪廻思想を積極的に認めていなかったとの説明もある。望月海慧「ブッダは輪廻思想を認めたか」『日本仏教学会年報』66号2000年51頁。

²⁵ 「完全に純粋な復活の生命は、死者が天と地とが再び創造せられるときに着せられるあの新しいからだ、『霊のからだ』から離れては考えられない。」オスカー・クルマン『靈魂の不滅か死者の復活か』聖文社、1966年、9-10頁。「神の国と関連のない復活や、逆に復活（正確には復活かもしくは変貌）のない神の国を考えることは、聖書的ではないと言わなければならない。…『死後直ちに』と『神の国のまったき到来』と宇宙論的な意味も込めて新天新地の到来とが、同時において理解されなければならない。」近藤勝彦『救済史と終末論—組織神学の根本問題3—』教文館2016年332-3頁。

²⁶ 村山修一『本地垂迹』筑摩書房2024年15-16頁。

²⁷ 『本地垂迹』24頁。「竺法雅は仏教のみならず、中国の古典にも精通していたから、布教にあたっては仏典中の故事を中国古典の似たものとくらべて説く、いわゆる格義の方法をとった。仏教の五戒を中国の五常にたとえて理解せしめたのはその一例である。」「本地垂迹」27頁。

²⁸ 新谷尚之『神道入門』筑摩書房2018年94頁。化身は、様態論（Sabellianism）的であり三神論（Tritheism）的でもある。

²⁹ 藤原藤男『聖書の和訳と文体論』キリスト新聞社1974年237-8頁。「ザビエルは薩摩の領主島津貴久に容易に謁見する機会を得ている。…島津氏の領内での布教を求めた。すると島津氏は、いとも簡単に領内での布教を許可している。」「神様の訳語は『大日』であった。…大日如来は仏教

ランシスコ・ザビエルら聖職者3名、日本人3名、中国人インド人各1名は、インドのゴアから船出し、1549年8月15日鹿児島に上陸した。通訳者は日本人ヤジローだった。ザビエルの目的は、天皇への謁見と諸大学（高野、根来、比叡山、近江、足利学校）の訪問だった³⁰。真言宗総学問所の金剛峯寺・根来寺大伝法院には全国より六千人ほどの学徒が集まっておりザビエルの目的の学問所の一つだった³¹。ザビエルは、日本人の宗教性に世界万物の創造主という概念がないこと、大日が唯一神として崇拝されていること、基督教は天竺宗の一つであるとみなされていることを承知していた。そのような状況の中でかつて真言宗に帰依していたヤジローがデウスの訳語として「大日」を発案したという³²。ゼウスが大日の化身であるとの理解は、真言宗の門徒だったヤジローにとっては違和感がなかったものと推察される³³。ザビエルは、基督教がすでに日本に入っていたかと調べたがその痕跡はなく、神概念や靈魂観にゆるがせにできない相違点があるとして真言僧や弘法大師空海と批判的に対峙することになる³⁴。

もう一つの事例は「現人神」の主張である。1911（明治44）年に東京帝国大学名誉教授の日本研究家バジル・ホール・チェンバレンは論文「新宗教の発明」を発表し「日本人の天皇崇拝などというものは、欧化主義の流行によって国民の愛国心が失われることを恐れた政府が明治二十年以降に生み出した新しい宗教にすぎない」と断じた。これに対して東京大学で宗教学を講じていた加藤玄智は「外国人研究家には日本の真相が十分にわからないために誤解がひろがる恐れがあり、したがって日本人自身が有りのままの日本を外国にも伝える必要がある」と考えて1912年に『我が国体思想の本義』を刊行した。その中で加藤は「西洋にあつては即ち神、日本にあつては天皇陛下、西洋にあつては宗教上の信仰、日本にあつては忠孝一本、西洋にあつては基督教、日本にあつては天皇教と申してき

では無限宇宙にあまねく存在する超越者という位置づけであるから、最初の訳語としてはそれなりに筋が通っているといってもよい。つまりザビエルたちは日本人に『大日を拝みなさい』と呼びかけたわけであるから、日本人たちはキリスト教を仏教の一派だと思って抵抗感なく受け入れたということだろう。」平川新『戦国日本と大航海時代秀吉・家康・政宗の外交戦略』中央公論社2018年45、46頁。

³⁰ 山本匠一郎「大日とデウス」『現代密教』22号2011年 263、267頁。

³¹ 「それにしても、ザビエルが来航した1549年当時に、「高野」、「根来」という紀伊国の二大寺院が、中世ヨーロッパの大学に比肩しうる内実を有する日本の主要なユニヴェルシタスとして、鹿児島島の地にまで喧伝されていたことの歴史的な意味合いは大きい、ということができよう。中世の紀伊国は、現在の私たちが想像する以上に、高等教育の発達した、文化の薫り高い国だったと思われる。「高野」とは、「根来」とは、それぞれが「3,500人以上の学生」が闊歩する、「カルティエ・ラタン（ラテン区。パリの大学町）」にも匹敵する大学町だったのである。』『平成15年度高野山大学における現状と課題—大学基準協会相互評価報告書—』5頁。[https://www.koyasan-u.ac.jp/info/disclosure/pdf/report_H15.pdf]

³² 「大日とデウス」273頁。

³³ 「法身が常住であり、無始無終であると説く、真言宗の根本原理・大日如来と、キリスト教の全知全能の神デウスとの共通性を見いだすことができる。こうした宗論により、真言僧が、デウスと大日との特質が似ていると見なして、キリスト教と真言宗の教理内容は同じものである結論づけたのも、無理はないように思われる。」「大日とデウス」277頁。

³⁴ 「大日とデウス」277頁。

たのであります。この二つが内外各自の其道德宗教の根底を形造って居る」と記した³⁵。加藤玄智は、浄土真宗僧侶の長男として生まれ育ち、日露戦争以後神道を研究する外国人があらわれたことに触発されて神道研究を始めた³⁶。仏を本地とし神を垂迹と考える本地垂迹説に基づくならば、仏（本地）の化身である神＝天皇（垂迹）をゼウス（垂迹）と容易に同一視し得たのであろう³⁷。

朱子学伝来およびカトリック伝来

朱熹（1130-1200）は、下記のような独自の概念である理気説を根本原理として、儒教経典を体系化し再構築した〔新儒教〕³⁸。

宇宙万物の原理を「理」、物質・存在・運動を「気」とする「理気二元論」で、性（人間の本性）は理であるとする「性即理」及び上下関係の秩序を重視する「大義名分論」等が、四書（大学、中庸、論語、孟子）³⁹等で説かれている宇宙論・人生論・道德論である。

朱子学は、「小学」「近思録」を学んでから「四書」に進み、その上で「五経」を修得する課程をとった。『大学』の「八条目」の「格物・致知・誠意・誠心・修身・齐家・治国・平天下」を窮理の教育とした。五倫（父子・君臣・夫婦・長幼・朋友）の徳目は仁の中に存すると説き、仁を修めるに孝から始めるとした。四書は、後代に科挙の試験科目になるなど五経に優先された⁴⁰。

熊本出身の俊仍（しゅんじょう）（1166-1227）は、18歳で受戒した後、延暦寺で天台教学および高野山

³⁵ 新田均『「現人神」「国家神道」という幻想』PHP研究所2003年55頁。

³⁶ 前川理子「加藤玄智の神道論—宗教学の理想と天皇教のあいだで—（1）」『神奈川大学人文学研究所報』46号2011年89頁。

³⁷ 「権現神の信仰となりては、神がそのまゝ佛の化身たることを明らかにしたものであって、此の権現信仰は一転して本地垂迹説となって現れるようになった。」大山公淳「仏教と神道との交渉」『密教研究』66号1938年12頁。

³⁸ 大本毅「江戸幕藩体制下の教育とその思想—幕府の学問所、諸藩の藩校、そして、私塾・寺子屋—（近代公教育への礎と萌芽の歴史的検証）」『信愛紀要（和歌山信愛女子短期大学）』60号2019年69頁。「朱子は、{仏教の法身や道教の無を否定し、}まず存在するものを、個物すなわちこの世の万物として、この万物（個物）を理（形相因・[太極]）と気（質量因・[無極]）との相い即する存在と見た。だから、個物（現象）は同時に普遍（本質）であり、普遍（理）は同時に個物（気）であり、理（普遍）は一つであって同時に多（現象）であると考えたのであろう。」「『儒教とは何か』202頁。

³⁹ 「『大学』は孔子の門人の曾子の作、『中庸』は曾子の門人の子思の作、そして子思の門人に学んだのが孟子であったとして、「四書」を学ぶことによって儒教の正統的な血縁がそのままに体得できると説明された。」「『大学』と『中庸』は、もともと『論語』や『孟子』と並ぶ単行本ではなかった。「五経」のなかの一つとして伝わった『礼記』四九編のなかに編入された二篇であって、その作者や時代も明確ではない。朱子が大学編を曾子に関係づけたのは、なんの根拠もない武断であった。」金谷治訳注『大学・中庸』岩波書店1998年3-4頁。

⁴⁰ 『儒教とは何か』204-208頁。

で密教を修め、34歳の時、小乗戒と大乘戒の課題解決のために戒律修行を決意し入宋した⁴¹。やがて1211年、俊芿は2103巻もの朱子の著作を伴って帰国した⁴²。朱熹没後わずか11年後のことだった。

1603年、征夷大將軍に任じられた徳川家康は、幕藩体制を敷き、武力の支配する戦国の世ではなく儒学・朱子学などの学問を奨励する文治政策を推進した。京都五山の相国寺で教育を担当していた藤原惺窩(1561-1619)は、朱子学に共鳴し還俗し儒家となり、中国文化の普及に専心従事する⁴³。彼の高弟の一人が林羅山だった。家康は、僧侶との確執によって召に応ぜぬ惺窩に代わって若干18歳の羅山を顧問として侍講を任せた。羅山は、1632年、家光より与えられた上野忍岡の屋敷に私塾「先聖殿」を開き儒学・朱子学の教育を始めた。1690年、五代將軍綱吉はこの私塾を湯島に移し「昌平坂」と命名し、旗本や御家人など幕臣を教育する学問所とした。各藩校においては武士の教育のために「四書五経」特に『論語』が重要視され、庶民においても寺子屋や私塾などの機関が普及した。その後、昌平坂学問所は、明治維新时期における洋学伝来の結果1870(明治3)年に廃止されるまで封建安定社会構築を目指す徳川幕藩体制の模範校として存続した⁴⁴。

明代の儒学者王陽明(1472-1529)は、「八条目」の「格物・致知」を朱熹の「外的な物や事を読書などの学びによる理の窮め」と解するのではなく「本来的に自分の内に存する理を道德的誠意によって窮める」と解し、心を正しくする道德的知は実践的性格をも有するとの知行合一を説いた⁴⁵。陽明学は、平等主義など反体制的正義感を醸成し、日本では中江藤樹、熊沢蕃山、吉田松陰、高杉晋作、西郷隆盛、佐久間象山、大塩平八郎らに影響を与えた⁴⁶。

他方、カトリック伝来は朱子学伝来と対照的様相を呈した。ルターの宗教改革に対抗する指導国家はスペインだった。1534年スペイン人のイグナティウス・デ・ロヨラら7名は「教育・異端との闘争・外国伝道」の主要使命を掲げてイエズス会を結成し対抗改革を実践した。創設メンバーの一人がフランシスコ・ザビエル(1506-1552)だった。カトリック布教は国家と連携して行われた。15世紀以降の大航海時代は主にカトリック教国のポ

⁴¹ 大谷由香「超越する仏教—13世紀日本中国間における戒律思想の共有を通して—」『人間仏教與未来学』7号2020年381-3頁。

⁴² 「俊芿は1199年に中国へ渡り、1211年に日本へ帰国した。『漢学起源』に拠れば、その際、二千百三巻の書物が日本にもたらされた。」(<https://ameblo.jp/sisiza1949-2/entry-12519951565.html>)

⁴³ 吾妻重二「江戸初期における学塾の発達と中国・朝鮮—藤原惺窩、姜[コウ]、松永尺五、堀杏庵、林羅山、林鶯峰らをめぐって(特集周縁から見た中国文化)」『東アジア文化交渉研究』(2)2009年49頁。

⁴⁴ 「江戸初期における学塾の発達と中国・朝鮮」49頁。「江戸幕藩体制下の教育とその思想」70頁。

⁴⁵ 小倉紀蔵『入門朱子学と陽明学』筑摩書房2012年162-65頁。

⁴⁶ 山村奨「明治期の陽明学理解—社会主義と明治維新との関係から—」『渡洋経済研究』18号2016年103-106頁。「松蔭は人間の「心」そのものの持っている力に注目し、学問上においても、実際の行為行動つまり尊王攘夷運動においても、主体的な行動規範を持って判断を下す傾向が極めて強くなり、徹底して自己の正当性を主張してゆく。」上田浩史「学者としての吉田松陰—嘉永期における兵道形成の分析を中心に—」『教育科学セミナー』54号2023年9頁。

ルトガルとスペインによって行われた。ポルトガルは1510年にインドのゴアをさらにマカオを武力占有し、中国や東シナ海への進出を図った。宣教師たちの布教活動は、十字軍以降の聖戦意識を有するだけでなく、保護者たる国家の利益をも視野に入れたものだった⁴⁷。

1540年3人のポルトガル人がジャンク船に乗ってシャムからシナに向かう途中暴風雨に遭い漂流し種子島に入港した。島主種子島時堯は彼らから鉄砲を二千両の大金を投じて購入し、火薬と製造法を家臣に学ばせ鉄砲の製造に成功した⁴⁸。鉄砲の噂はたちまち畿内に広がり、畿内の根来寺傭兵集団や堺商人に伝わった。鉄砲の製造と使用は戦国動乱の時代に全国に広まった⁴⁹。1549年ザビエルたちは、周到な準備を整えてゴアを出発し、ポルトガル商船ではなく中国船で鹿児島に到着した。南蛮貿易で国力を増強しようとしていた島津藩主島津貴久はザビエルを歓迎し、基督教布教を快諾した。ザビエルの目的は、天皇との面会、日本での布教の許可、京都の諸大学訪問だったが、内戦状態で天皇も將軍も統治能力を失っていた。

ザビエル以後イエズス宣教師フロイスらによって布教活動は継続された。1568年に入京した織田信長は、フロイスに京都での布教を許す允許状を与え保護した。京都にはイエズス会の修道院やセミナリオが建設された⁵⁰。しかし、1582年の本能寺の変以降に様相は一変する。当初秀吉は基督教に好意的だった。1583年にキリシタン大名の高山右近の尽力もあり領主や武将など8300人ほどが基督教に改宗している。翌年には、蒲生氏郷や黒田官兵衛もキリシタンになった。1586年に秀吉は日本教区長コエリヨに、日本居住の許可、寺院の義務の免除、布教する宣教師への狼藉禁止の特許状を与えた。しかし、信者数20万人と推定されるキリシタン勢力への警戒感や神道仏教との軋轢という政治的不安を勘案し、秀吉は1587年6月19日に突如「伴天連追放令」を発した。この年は、スペインとの交易が平戸で始まり、スペインのフランシスコ会とポルトガルのイエズス会の対峙による26聖人殉教の悲劇が起きている。歴史の流れは、徳川幕府による鎖国政策や寺請制度によるキリシタン排除に至り、さらには、神道・儒教・仏教・基督教を巻き込む明治維新期

⁴⁷ 高橋裕史『武器・十字架と戦国日本—イエズス会宣教師と「対日武力征服計画」の真相』洋泉社2012年42-43頁。「聖戦」については、佐々木哲夫『命のファイル—ロボット・テロ・不条理・来世と旧約聖書』教文館2019年58-63頁、佐々木哲夫『旧約聖書と戦争—士師の戦いは聖戦か?』教文館2000年27-33頁。

⁴⁸ 宇田川武久『鉄砲伝来—兵器が語る近世の誕生』講談社2013年13-15頁。

⁴⁹ 洞富雄『鉄砲—伝来とその影響』思文閣出版1991年63-69頁。「界は国友と並んで日本における鉄砲の大生産地となった。古来より当地域やその周辺では鋳物が製作され、丹南鋳物師ら多数の職人が集住していた。戦国期には港湾都市として大きく発展し、物流の拠点でもあった。…他方、根来では、種子島への鉄砲伝来後、わずか一年にして鉄砲が伝わり、その模作に成功したという。戦国末期には、根来衆や雑賀衆をはじめ、諸地域の有力土豪らが1000挺規模での鉄砲を保持し、各地で鉄砲戦を繰り広げた。」太田紘一「堺鉄砲鍛冶と紀州」『鉄砲伝来の日本史—火縄銃からライフル銃まで』吉川弘文館2007年55頁。

⁵⁰ 修道院では、茶の湯によって来客をもてなした。スムットニー祐美『茶の湯とイエズス会宣教師—中世の異文化交流—』思文閣出版2016年124頁以下。利休が濃茶を呑み回しの作法としたのはミサの影響だとの説もある。増淵宗一『茶道と十字架』角川書店1996年137頁。

の経緯に至る⁵¹。

国学と洋学（プロテスタント伝来）

「儒教、仏教、耶蘇教はもともと日本になかった外国伝来の宗教である」との表層的批判を超えて、日本人固有の心を問う和学（国学）が江戸時代に起きた。水戸光圀は、『萬葉集』に日本人の心が歌の形で残されているとしてその注釈を求めた。真言宗僧侶の契沖（1640-1701）は、根拠となる文献を挙げる実証的研究法に基づいて万葉集の全ての歌に読みと注釈を付す『萬葉代匠記』を著し光圀の依頼に応じた。また、賀茂真淵は「古代の人は一途かつ純真であった。そうした古代の人から感情のままに自然と口をついて出た言葉が、おのずからリズムになったものが『歌』であった」との人間観に達した⁵²。さらに本居宣長は、『源氏物語』の研究から「物の哀れ」論という主情主義的人間論を描き出した⁵³。また「道」の学問がないと法師の契沖を批判した⁵⁴。

国学者たちは、当初は尊王攘夷^{じゅうおう}で徳川幕府大政委任論だったが、ペリー来航以後の幕府の弱腰と朝廷への非礼から尊王倒幕へと変化した⁵⁵。さらに、長州藩吉田松蔭門下の儒学者たちは攘夷から尊皇倒幕開国へと動いた。幕末・明治維新の激動期は、プロテスタントキリスト教（洋学）と儒仏神が絡まった宗教政治的混乱期となる⁵⁶。

肥後（熊本）に横井小楠がいた。熊本藩校時習館で朱子学、尊王攘夷の水戸学、熊沢蕃山『集和書』で堯舜の「実学」などを研鑽し、居寮長に抜擢され、のちに勝海舟に「俺は今までに天下で恐ろしいものを二人見た。それは、横井小楠と西郷南州だ」と評され、木戸孝允をして「横井の舌剣」と恐れさせた人物である。33歳の時に独自の政治理念の「実学党」を興こし、20人程の書生を集めて家塾「小楠堂」を開き「なにごとに対しても公平無私に、わがままな心があってはならない、誠心誠意をもってやるのが大事である」と功利主義を排し政治と道德の合一をめざす実学の教育を行った⁵⁷。

⁵¹ 森和也『神道・儒教・仏教—江戸思想史のなかの三教—』筑摩書房 2018 年 308-309 頁。石井昭夫「日本のインバウンドの歴史」48 頁。[<https://tourismishii.jp/japaneschistory/historyinbound/>]。

⁵² 『神道・儒教・仏教』120 頁。

⁵³ 仏教からは、紫式部は『不妄語戒』を破ったと批判され、儒教からは、熊沢蕃山の『源氏外伝』で「教戒のためにわざと好色な物語を書いた」と『源氏物語』の読み替えが行われた。『神道・儒教・仏教』122 頁。「物の哀れ」とは「物事の本質をわきまえ知り、その物事に触れた時にそれにふさわしい感情が動くことが『物の哀れを知る』ということである」「いみじくめでたき桜の盛りに咲きたるを見て、めでたき花と見るは、物の心を知るなり。（宣長）」『神道・儒教・仏教』124 頁。

⁵⁴ 道とは、「神によって始まり、神の子孫である天皇へと受け継がれた道」『神道・儒教・仏教』128 頁。中澤伸弘『やさしく読む国学』戎光祥出版株式会社 2006 年 27 頁。

⁵⁵ 『やさしく読む国学』114-116 頁。

⁵⁶ 維新政府は、五榜の掲示（1868 年）により切支丹・邪宗門を禁じた。儒学者国学者たちは、神仏分離や廃仏毀釈を先導した。（畑中章宏『廃仏毀釈』筑摩書房 2021 年 61-63 頁）。高札（第 3 札）は、岩倉使節団に対する欧米の猛抗議により 1873（明治 6）年に撤去されたが、「キリスト教＝邪宗門」の観念は修正されなかった。

⁵⁷ 徳永洋『横井小楠—維新の青写真を描いた男』新潮社 2005 年 38 頁。

熊本では藩政府が関与する佐幕攘夷の学校党、長州と関係していた尊王攘夷の勤王党、小楠の実学党の三党派がせめぎ合っていた。当初小楠は勤王党と同じく尊王攘夷を唱えていたが、ペリー来航、『開国図志』、日米和親条約締結などの影響によって世界に目が開かれ、開国論を提唱するようになる。福井越前藩松平春嶽より賓客の招聘を受け、『国是三論』⁵⁸を草する。特に「洋学所」で学んだ二人の甥の渡米に際し贈った言葉「堯舜孔子の道を明らかにし、西洋器械の術を尽くさば、なんぞ富国に止まらん、なんぞ強兵に止まらん、大義を四海に布かんのみ」と記したように海軍力を重視し、勝海舟や坂本龍馬らとも親交を深めた。1869（明治2）年1月5日公務帰宅途中に黒頭巾の刺客一団に襲われ刺殺される。首謀者は勤王党と親しい政府の要職者たちだった。暗殺理由は、廃帝の議と基督教主導という濡れ衣だった。小楠は、公武合体や共和制（議会制）を主張したのであって、基督教に関しては信者ではなかった⁵⁹。

小楠の死後、実学党は熊本藩の実権掌握に成功し、いわゆる「肥後の維新」を実現した。学校党の拠点だった時習館を廃校にし、新たに熊本洋学校と古城医学校を設立した。前者の教師としてウェストポイント陸軍学校出身の軍人 L. L. ジェーンズが招聘された。彼は、1871（明治4）年8月に着任し、時習館から移籍した生徒たちに英語学・算数・代数・幾何・測量・物理化学・地理・万国史など20教科を通訳なしの英語によって一人で教えた。ジェーンズは、女子の受講〔男女共学〕を認めさせ、陸軍士官学校の教育方式を採用し、質問に対する返答の首尾に応じて適宜席順を移させるなど厳しい教育を行った。生徒たちは、2年目になると英語の講義を十分理解できるようになった⁶⁰。教育だけでなく地域の住民に、西洋野菜の栽培法を教授し、牛乳牛肉やパン食を導入し、印刷機による新聞発行などの殖産興業をも指導した⁶¹。

さらにジェーンズは、宣教師ではないのだが倫理道德の必要を覚え1875年自宅で聖書研究会と基督教講義を開き、直接的神学教育を始めた。翌年1月30日早朝35名の生徒が花岡山で「奉教趣意書」に血判を押した。この出来事は、熊本洋学校が基督教に関与したと大騒動になり洋学校は9月に廃校とされた。学生たち（宮川経輝、金森通倫、横井時雄、小崎弘道、吉田作弥、海老名弾正、徳富蘇峰）はただちに前年開校した新島襄の同志社英学校に転校し、ジェーンズは大阪英語学校へ転出した。同年10月24日夜、熊本勤王党一派の敬神党約200名が突然挙兵し、県令や実学党を襲撃する神風連の乱が起きた。一夜で

⁵⁸ 理想国家を支えるものは「富国・強兵・士道」の三つが天地人を形成していると説いた。田口佳史『横井小楠の人と思想』致知出版2018年108-137頁。『横井小楠』71-76頁。

⁵⁹ 『横井小楠』163-176頁。後輩の居寮長井上毅〔後の文部大臣〕との対話で、井上の質問に「仏教は倫理を廃し、キリスト教は倫理を立てる」と答えるが、既に民心に染み入っている仏教と宗旨争いになるとしてキリスト教布教には消極的だった。横井小楠『国是三論』花笠三郎訳注、講談社1986年176-181頁。

⁶⁰ 熊本県立大学編著『ジェーンズが遺したもの』熊本日日新聞社2012年50-56頁。

⁶¹ 『ジェーンズが遺したもの』62-63頁。

収束した暴動だったが、ジェーンズらの離熊が一ヶ月遅れたならば、彼らが事件に巻き込まれたことは必定だった。京都に移った小崎弘道たち学生はやがて同志社の運営を担う重要人物になる⁶²。熊本、京都、横浜における洋学の移入は、女子教育をも重視する基督教学校設立の歴史へと伸展してゆく。

2 初期仏教

紀元前 463 年、インド北部ネパール国境付近にあるサーキャ（釈迦）族の小国に王子ゴータマ・シッダールタは生まれた。母マーヤーは生後 7 日後に亡くなり、父シュドーダナ王はカピラ城で王子を自由奔放何不自由なく育てた。16 歳の時ゴータマはヤソーダラと結婚し男子を得ている。豪奢な生活だったが、樹下観耕⁶³や四門出遊⁶⁴などによって人生の疑問と苦悩が募り、29 歳の時に出家（沙門）の道を選ぶ。シュドーダナ王は、林住期に入るには早すぎると心配し五人の従者〔五比丘〕を遣わした⁶⁵。苦行者バッカバ仙人から天上界への転生、思想家アーラーラ・カーラーマから無所有処⁶⁶、ウッダカ・ラーマブッダから非想非非想処⁶⁷の境地を学ぶも、さらに独覚の道へと進んだ。6 年間の苦行の末ゴータマは遂に苦行ではなく、菩提樹の下に座し、村の娘スジャータの乳粥供養を得て瞑想に入った。49 日後に悟りを開き〔成道し〕、涅槃の境地に至る〔解脱した〕。この時からゴータマではなく、世尊〔釈迦如来、釈尊、仏陀〕⁶⁸と呼ばれる。梵天勸請⁶⁹によって仏陀は、その後 45 年間布教を行い、80 歳で沙羅双樹の下にて入滅する。この時、大般涅槃経〔阿含経など〕によれば釈尊はアーナンダら弟子たちに最後の説法として「自らの力で法を頼りに修行しなさい〔自燈明・法燈明〕」を教えた⁷⁰。

釈尊の目標は苦〔四苦八苦〕⁷¹を超克した境地〔涅槃〕に至ること〔解脱〕だった。苦

⁶² 高道基「熊本バンドと初期同志社」『熊本バンドの研究』同志社大学人文科学研究所編、みすず書房 1965 年 214-258 頁。

⁶³ 農耕祭に臨席し、農具を引く苦しそうな牛、耕土から出てきた虫をついばむ小鳥、それを捕らえる猛禽を見て、生きる苦を感じた体験。

⁶⁴ 王城の東西南北の四つの各門外にてそれぞれ老人・病人・死者・修行者に会い、苦を目の当たりにした体験。

⁶⁵ バラモン由来の理想の人生は四住期（学生期・家住期・林住期・遊行期）だった。五人の従者はゴータマと共に苦行し最初の仏教帰依者となる。

⁶⁶ 無の境地。

⁶⁷ 「思わないこと」をも思わない究極の境地。三界（欲界、色界、無色界）における最高の境地。

⁶⁸ 仏陀は「真理に目覚めた人」との普通名詞。「釈尊」は固有名詞。田上太秀『涅槃経—ブッダ臨終の説法—を読む』講談社 2004 年 16-17 頁。

⁶⁹ バラモン教の創造神ブラフマー（梵天）が現れて人々に布教するよう釈尊に懇願した。

⁷⁰ 「怠ることなく修行を完成させなさい」との釈尊最期の言葉をブッダゴースは「45 年間に説いた一切の教え〔法〕を怠るなかれ」と解説した。すなわち、「自燈明・法燈明」である。中村元『ブッダ最後の旅—大パリニッパナ経』岩波書店 1980 年 159、295 頁。

⁷¹ 生・老・病・死の四苦および愛別離苦〔愛する者と別れる苦しみ〕・怨憎会苦〔憎む者と会う苦しみ〕・求不得苦〔求めるものを得られない苦しみ〕・五陰盛苦〔人間の心と体の働きである五蘊（色受想行識）が生み出す苦しみ〕。

の原因は、無明⁷²が生む煩悩であり、煩悩は三毒⁷³に淵源する。無明から老死の苦に至るプロセスは十二縁起として説明された⁷⁴。

また、「四諦」が説かれた。すなわち、この世は苦であり【苦諦】、苦は実体のないものを追い求める執着心〔煩悩〕のゆえであることを認識し【集諦】、執着から離れることによって苦を滅し得るのであり【滅諦】、そのために正しい修行「八正道」⁷⁵を実践すること【道諦】が説かれた。

八正道修行は、【戒】【定】【慧】の三学にまとめられた。すなわち、戒⁷⁶を守ることを誓う受戒を経て正語正業正命正精進のための修行に専念し【戒】、その後、【定】の段階に進む。座禅など心の集中による寂静の境地に到ること〔三昧〕によって正念正定を養い、これら【戒】【定】の達成により正見正思惟【慧】を完成させ、すなわち解脱〔成道、成仏〕へと至る。完成直前の修行者は阿羅漢と呼ばれた⁷⁷。

3 大乘仏教

釈尊入滅直後、マハーカッサパが主宰者になり直弟子 500 名が王舎城郊外の七葉窟に集まり第 1 結集〔教団会議〕が行われた。弟子アーナンダ口誦〔如是我聞〕により釈尊の教えを経蔵に、弟子ウパーリ口誦〔如是我聞〕により出家者が守るべき戒を律蔵に纏めた。釈尊は「小小戒」については「アーナンダよ。修行僧の集いは、わたしが亡くなったのちには、もし欲するならば、些細な、小さな戒律箇条は、これは廃止してもよい」と語ったが、変更可能な小小戒が具体的に何を指すかが不明であり、会議は釈尊の戒律を保持することにした⁷⁸。

100 年後の紀元前 280 年頃、聖典遵守に関する審議のためにヴァイシャーリーに長老ら 700 名が集まり第 2 結集が開かれた。金銭の布施⁷⁹を受けての蓄財を可能にするなど戒律を緩やかにする十事⁸⁰の改革案が議論された。しかしまとまらず、戒律や經典を厳格に保

⁷² 智慧のない無知の状態。

⁷³ 貪欲、愚痴、瞋恚〔怒り恨み〕

⁷⁴ 無明から苦に至る過程を縁起（因縁生起）〔（因）直接的原因と（縁）間接的原因〕による 12 段階の変化として説明するもの。①無明〔正しい智慧がない状態〕→②行〔智慧のない行為〕→③識〔誤った認識〕→④名色〔身体形成〕→⑤六処〔5 感覚と意識が装備〕→⑥蝕〔外部との接触〕→⑦受〔感受する〕→⑧愛〔欲望が起きる〕→⑨取〔取得の執着が起きる〕→有⑩〔心ある生物として存在する〕→⑪生〔他の存在を生み出す〕→⑫老死〔老と死の苦が発生〕

⁷⁵ 正見（正しく見る）・正思惟（正しく考える）・正語（正しい言葉）・正業（正しい行い）・正命（正しい生活）・正精進（正しい努力）・正念（正しい心の落ち着き）・正定（正しい精神統一）。

⁷⁶ 五戒・八斎戒・十戒・具足戒の戒を守ることを誓った者に戒名が付与された。

⁷⁷ 大乘仏教では菩薩と称し、日本仏教では六道界に観音菩薩（地獄道—千手観音聖観音、餓鬼道—聖観音、畜生道—馬頭観音、修羅道—十一面観音、人道—准胝観音、天道—如意輪観音）がそれぞれの衆生を救うと説かれている。

⁷⁸ 中村元『ブッダ最後の旅』156 頁。保坂俊司『史上最強図解仏教入門』ナツメ社 2010 年 38-39 頁。布施には、食事や金銭の財施、法を説く法施、恐れさせない無畏施がある。

⁸⁰ 「①塩の備蓄②正午過ぎでの食事③他村でも施食を受ける④指定場所以外で布薩を行う⑤事後承認⑥師匠の慣行遵守⑦半酪乳の摂取⑧熟成前酒の摂取⑨縁なし座具の使用⑩金銀の受領」の十事

持する西部インドの保守上座部と改革を支持する東部インドの大衆部が分裂する根本分裂に至る。大衆部はさらに部派に分裂し、上座部も北西上座〔一切有部など〕と南西上座が分裂するなど、いわゆる部派仏教の時代になる。仏教に帰依したアショカ王による第3結集(180B.C.?)によって経の解説書の論蔵がまとめられ三蔵が整えられた。しかし、枝末分裂は収束せず、最終的に上座部9部大衆部11部へと分裂した。

やがて、部派仏教の中から、自燈明・法燈明の阿羅漢を目指すのではなく、一切衆生の救済という利他行の菩薩道を目指す教えが現れた。それは大乘仏教と称され「進歩的精神に触発されることによって、釈尊の教えの真の重要性和矛盾しない限りにおいて、その本来の視野を拡大した仏教」⁸¹や「釈尊のさと(正覚)の根本たる縁起の法をさとられた智慧と、一切衆生にその縁起をさとらせて、正覚を達成させようとする慈悲とが要になっている」と解説されている⁸²。衆生に安樂をもたらす菩薩の修行は、三学に利他業を加えた六種の戒めの修行【六波羅蜜】⁸³(布施⁸⁴・持戒・忍辱⁸⁵・精進・禪定・智慧)によって示された。

大乘仏教の起源や年代については「大衆部起源説」(富永・村上)、「仏塔在家者起源説」(平川)、「周辺地域起源説」(G. Schopen)⁸⁶「ヘレニズム思想流入説」⁸⁷など諸説があり、また、1世紀に遡るガンダーラ語写本に大乘經典が存在するとの指摘もある⁸⁸。

紀元150年-250年頃、ナーガールジュナ(龍樹)は南インドのバラモンのカーストに生まれ、出家後思想家として『中論』を著し「空」の思想を展開し、上座の「説一切有部」の教説を「縁起も無我也無常も否定し仏教自体が成立しない」と批判し、大乘仏教を確立させた⁸⁹。大乘經典は、「般若經類」「維摩經」「法華經類」「涅槃經類」「華嚴經類」「浄土經典類」「金剛頂經」「大日經」などである⁹⁰。最初の仏典漢訳者は安世高(2世紀)とされている。訳経僧竺法護(239-316年)が約150部300巻を漢訳し(古訳)、その後、鳩摩羅什(350-409年)が35部294巻の經典を漢訳〔旧訳〕したとされる⁹¹。釈尊の直説と解

を容認する改革案。片山一良「十事(dasa vatthhni)について」『パーリ学仏教文化学』第3巻1990年18-22頁。

⁸¹ 鈴木大拙『大乘仏教概論』岩波書店2016年23頁。

⁸² 浄土真宗本願寺派総合研究所編『浄土三部經』本願寺出版社2013年456頁。

⁸³ サンスクリット語「修行」paramita(パラミタ)の音訳。

⁸⁴ 布施には、財施(物質財物をあたえる)法施(教えを説いてきかせる)無畏施(恐怖や不安を除いて安心させる)や無財の七施がある。『史上最強図解仏教入門』95頁。

⁸⁵ 忍辱とはこの世(娑婆)〔サンスクリット語サハ「耐え忍ぶ」に由来する〕の苦難や他者からの迫害に耐え忍ぶ徳目のこと。

⁸⁶ Samawadee Charoensriset「大乘仏教起源説の問題をめぐって」『印度学佛教学研究』57巻1号2008年397-8。下田正弘「大乘仏教起源論再考」『印度学佛教学研究』61巻2号2013年835-9頁。

⁸⁷ 平山朝治「大乘仏教の誕生とキリスト教」『筑波大学経済学論集』57号2007年139-185頁。

⁸⁸ 下田正弘『『正典概念とインド仏教史』を再考する』『印度学佛教学研究』68巻2号2020年1035-1043頁。

⁸⁹ 八木誠一『宗教の行方—現代のための宗教十二講』法蔵館2022年312-318頁。

⁹⁰ 中村元『龍樹』講談社2002年56-66頁。

⁹¹ 玄奘三蔵法師(602-64年)は649年に「般若心經」を漢訳し〔新訳〕「色即是空・空即是色」「応

された大乘仏典は成立年代に関係なく中国に伝わったことで仏説間に矛盾がみられ解釈上の問題が起きた。隋（581-618 年）の時代、智顗（538-597）は、種々の經典を整理し教学を統合し、法華經を究極の經典として天台教学を作り天台宗の開祖となった⁹²。すなわち中国の仏教は大乘經典に基づく大乘仏教国である。東大寺で受戒し南都六宗で学び比叡山にこもった最澄は 802 年遣唐使として渡り、天台山で天台教学を学び菩薩戒を受け、密教（台密）をも学んで帰国し、日本天台法華宗を始めた。後に延暦寺に大乘戒壇が備えられた。804 年遣唐使に選ばれた空海は密教を修め、高野山金剛峰寺で真言宗（東密）を開いた⁹³。漢訳浄土三部經など大乘經典に基づく仏教国日本はすなわち大乘仏教国である⁹⁴。

4 聖書と歴史

バラモン教やヒンズー教に淵源する仏教は、本質的に自然宗教⁹⁵であり、哲学や神秘体験のように此岸から彼岸への方向性を有する論理や体験に基づく信仰体系である⁹⁶。他方、キリスト教ユダヤ教イスラム教の一神教は彼岸から此岸への方向性である神の自己啓示〔神が知られることを選び、自然と人間の歴史における自己開示によってそれを可能にすること〕⁹⁷に基づく創唱宗教⁹⁸の信仰体系である。啓示を受けたモーセや預言者たち、イエス・キリスト、使徒たちの歴史証言を含む聖書およびユダヤ史、オリエント史、ローマ史や教会史の知識はそれゆえ信仰理解にとって決定的重要性を有する⁹⁹。歴史の出来事が聖書正典化の重要な契機にもなっている。例えば、旧約ヘブル語聖書（タナハ）の三分区¹⁰⁰の結集終点（terminus ad quem）としてバビロン捕囚（587BC）、『シラ書』の証言（190BC）、ヤムニヤ会議（90AD）¹⁰¹が挙げられる。始点（terminus a quo）としては、出エジプト、12 部族国家、北王国滅亡と 10 部族捕囚、南王国滅亡とバビロン捕囚の出来事が論議されている。他方、新約聖書（ギリシア語本文）¹⁰²の始点はイエス・キリストであり、正典化の時代背景としてのローマ帝国による迫害が挙げられる。終点はヒッポ会議（393 年）やカ

無所住・而生其心」など空概念を浸透させた。『史上最強図解仏教入門』60-61 頁。

⁹² 『史上最強図解仏教入門』62-63 頁。「天台大師さま」天台宗法話集 No. 56 [https://www.tendai.or.jp/houwashuu/kiji.php?nid=58]

⁹³ 道元徹心「(書評) 大久保良峻『最澄の思想と天台密教』」『日本思想史学』48 号 2016 年 196-202 頁。

⁹⁴ 「最近の研究によれば、浄土教はキリスト教の影響を受けた西域産の思想であるそうだが、それが中国に入り道教と結びつき、曇鸞、道綽等の浄土教の思想家を生んだ。特に善導は…魂を打ち砕くようなはげしい言葉で浄土への願望を語った。」梅原猛『地獄の思想—日本精神の一系譜』中央公論社 1967 年 76 頁。

⁹⁵ 阿満利磨『日本人はなぜ無宗教なのか』筑摩書房 1996 年 8-13 頁。

⁹⁶ 『命のファイル』131-165。

⁹⁷ アリスター・E・マクグラス『キリスト教神学入門』教文館 2002 年 288 頁。

⁹⁸ 『日本人はなぜ無宗教なのか』8-13 頁。創唱宗教の特徴は、教祖・經典・教団である。

⁹⁹ 聖書理解にとって古代イスラエル・オリエント年表と古代中東地理の知識は必須である。佐々木哲夫「旧約聖書概論」『キリスト教入門 [改訂版]』学術図書出版社 1992 年 1-49 頁。

¹⁰⁰ 律法（トーラー）預言者（ネビーム）諸書（ケスビーム）『キリスト教入門』1 頁。

¹⁰¹ 『総説旧約聖書』日本基督教団出版局 1984 年 570-81。

¹⁰² 時系列としては、使徒の手紙、福音書、使徒言行録、黙示録の順である。『キリスト教入門』52 頁。

ルタゴ会議 (397 年) での正典認定である¹⁰³。

「イエス・キリストの神性」「父子聖霊の三位一体」「聖書の靈感」¹⁰⁴の神学的課題は、「二道転生」や「苦から涅槃へ」とは異なり、「人間の罪の赦し〔救済〕」の問題だった。罪概念を示す原語は単一ではなく、不従順、不法、汚れ、背教など多様な意味が含まれる。また、罪の赦しの概念を示す原語も複数あり、旧約聖書時代にあつては代償の犠牲を神に捧げることによって罪が贖われ、また、神の子イエス・キリスト以降の時代にあつては十字架が罪を贖う完全な代償の犠牲と解された¹⁰⁵。罪の赦しは、永遠のいのちを得る救いでもあり、福音として全世界の民に伝えられるものになった¹⁰⁶。

イエス・キリストの十字架の死、復活、昇天の後に聖霊が臨み教会時代となった。ローマ教会は、ミラノ勅令 (313 年)、ローマ帝国の国教化 (392 年)、イスラム教台頭 (7 世紀)、十字軍 (11 世紀)、教皇権の隆盛 (13 世紀インノケンティウス 3 世)、アヴィニヨン捕囚 (14 世紀) などを経てヘレニズム世界を形成し、その政治と文化を牽引した。やがて教会は、聖職者の違法蓄財、能力不足、道徳的退廃に対処する改革に専念するが¹⁰⁷ 内実においては「使徒ペトロの代理」から「後継者」もしくは「キリストの代理人」へと変容した¹⁰⁸。

カトリック聖職者マルティン・ルターは修道院において人間の行い得る最も厳しい修行の末に、人間の努力によっては神の義に至れないことを悟った。聖句「神の義が、福音の内に、真実により信仰へと啓示されているからです。『正しい者は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです」¹⁰⁹などの句に導かれて「行為義認」ではなく「信仰義認」を確信した。折しもカトリック教会は罪の赦し的手段としての免罪符〔贖宥符〕を発行販売した。それがルターの 95 か条提題および宗教改革への契機となった¹¹⁰。ルターの信仰義認は、

¹⁰³ 小島潤『新約聖書正典の編成と伝承』聖文舎 1972 年 48 頁。

¹⁰⁴ 「聖書の靈感」は「十全靈感」「言語靈感」と表現し得る。舟木順一「靈感の用語と概念―用語整理のための覚え書」〔1984 年〕聖書神学舎教師会『聖書信仰とその諸問題』いのちのことば社 2017 年 302-329 頁。

¹⁰⁵ 『旧約聖書神学事典』教文館 1983 年 288-291 頁。『命のファイル』125-130 頁「わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。」(コロサイ 1:14 新共同訳)。『キリスト教神学入門』360-66 頁。

¹⁰⁶ 『命のファイル』118-125 頁。「イエスは言われた。全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ 16:15)

¹⁰⁷ 15 世紀前半に 3 回の教会会議 (1409 年ビザ総会議、1414-18 年コンスタンツ総会議、1431-49 年バーゼル総会議) が開かれている。カール・F・ヴィスロフ『ルターとカルヴァン』いのちのことば社 1976 年 30 頁。金子晴男江口再起〔編〕『ルターを学ぶ人のために』世界思想社 2008 年 6-7 頁。

¹⁰⁸ 印出忠夫「発展する社会の中の教会」『キリスト教の歴史 1』山川出版 2017 年 184 頁。

¹⁰⁹ ローマ信徒への手紙 1 章 17 節。小田垣雅也『キリスト教の歴史』講談社 1995 年 132 頁。

¹¹⁰ ドミニコ会修士ヨハン・テツェルは「投資をしなさい。あなたがたの援助と義捐金を差し出して煉獄から魂を救い出しなさい! グルデン金貨が箱の中でチャリンと音を立てるやいなや、魂は天国に飛びあがると喧伝した (『キリスト教の歴史 1』239 頁)。ルターは (27 条)「箱の中へ投げ込んだ金がチャリンと鳴るや否や、魂が煉獄から飛び上がるという人たちは、人間を宣べ伝えている」(28 条)「金が箱の中でチャリンと鳴ると、利得と食欲は増すが、教会のなすべきところではない」と議論を提起した。

宗教改革（1517年）を遡ること300年程前の親鸞による信行両座の逸話を想起させる¹¹¹。
三位一体〔様態論でも三神論でもない〕と化身〔本地垂迹〕、聖霊〔内住のキリスト（コロサイ1:27）¹¹²〕と「仏性」¹¹³〔法身〕との対比において両者には根本的な齟齬が存すると思慮される¹¹⁴。

（ささき てつお／宮城学院資料室運営委員会委員長、宮城学院理事長・学院長）

¹¹¹ 1205（元久2）年9月21日、吉水の禅房に法然、親鸞、門弟約200名が集まった。親鸞は、安心決定において門弟が師法然の心を体しているかを見るため信行両座を設けた。信の座には3人の門弟と親鸞のみが座し、最後に門弟全員が注視するなか法然が信の座に入った。『本願寺聖人伝絵』信行両座の段（上巻第六段）。倉田百三『法然と親鸞の信仰（下）』講談社1977年42-45頁。

¹¹² 「この秘められた計画が異邦人にとってどれほど栄光に満ちたものであるかを、神は彼らに知らせようとされました。その計画とは、あなたがたの内におられるキリスト、栄光の希望です」（新共同訳）。

¹¹³ 「仏性」の用語は原始大般涅槃経〔原始仏教〕にはなかった。大乘経典の大般涅槃経系の作者たちから生まれた大乘仏教特有の用語である（『涅槃経を読む』78-9頁）。大般涅槃経は、パーリ語原典（釈尊入滅直後の編纂経典）〔原始涅槃経〕とサンスクリット原典（成立紀元300-350年の創作経典）〔大乘涅槃経〕の二種類がある。大乘涅槃経の漢訳は法顕が418年に翻訳した『仏説大般涅槃経』である。例えば、鍛冶屋の青年チュンダの供養したキノコ料理の件は原始涅槃経に記載があるが大乘涅槃経にはない（『涅槃経を読む』67-76頁）。「仏性」ではなく「如来蔵」の用語を使った5世紀の『宝性論』は、511年に漢訳されたが、余り流布されなかった。他方、真谛訳『仏性論』〔5世紀〕が中国や日本で重視されるようになった。インドで隆盛した「如来蔵」の用語に関し、『涅槃経』では「如来蔵」ではなく「仏性」が専ら用いられた（頼住光子「道元の仏性論：『仏性』思想の展開の観点から」『日本仏教研究』5巻2007年15-21頁）。大乘仏教における「仏性」とは「仏陀の素質」「仏陀たちを生み出すもの」で身体の中に存している。しかし、無明〔煩惱〕に覆われているために「仏性」を見ることができない。すなわち、自力で開覚できずに仏の救済によって解脱し得る。親鸞は自らが方便仏となって衆生の仏性開覚を導こうとした（『涅槃経を読む』80、86頁、『親鸞とルター』269、284頁）。「一切衆生悉有仏性」の一切を「生きる物」と解すると動植物を含み、「存在する物」と解すると山川瓦礫などの無機物を含むことになる。五道に存する生類とするならば山川草木は含まれない（『涅槃経を読む』136頁）。ブラフマンの分身であるアートマンが靈魂か仏性かについて釈尊とセーニカ外道〔仏教以外の信仰を有している者〕の議論がある（『涅槃経を読む』90-112頁）。

¹¹⁴ 親鸞は「信仰」の表現を使っておらず、親鸞の「信心」と「仏性」の関係および「弥陀」自らが「法蔵菩薩」となって示顕したなどの論考から、ルターの「信仰のみ」と親鸞の「唯信」は同一ではないとの説明がある（加藤智見「親鸞の『信』の性格」『印度學佛教學研究』34号1986年568-575頁）。「人格的な神の意志に従い尽くすところに信仰（fides）の純粹さやキリスト者の自由を見出すルターと…親鸞の『信』とはその根底で相違性を有すると思える。加藤智見『親鸞とルター—信仰の宗教学的考察—』早稲田大学出版部1987年286頁。



2024年度宮城学院創立記念講演

宮城学院と私

ーリーダーシップの学びと経営者としての視点ー

東通インテグレート株式会社代表取締役 佐藤 博美

2024 年 9 月 18 日（水）宮城学院礼拝堂

この度は宮城学院の創立記念の日に先生方並びに諸先輩方の前で、講演の機会を頂き誠に有難うございます。日頃は、評議員として、卒業生として、少しでも宮城学院のお役に立つよう微力ながら活動を致しております。

この大学のキャンパスで学び、夢や目標に向かって歩んでまいりました私自身を振り返りながら、大学生活を通じて学んだこと、そしてその経験が現在の私のキャリアや人生にどのように影響を与えたのかを皆様にお話しできればと思います。拙いお話になりますが、どうぞ最後までお付き合い頂けますよう宜しくお願い致します。

1. 自己紹介

私は仙台市の八木山地区で育ち、小中学校を過ごしました。その後高校を卒業し、宮城学院女子大学に進学しました。1986年に卒業後、父が経営する東京通信機株式会社（情報通信機器の販売、設置、メンテナンス）のグループ会社である東通企画株式会社（広告会社）に入社、2001年に代表取締役に就任いたしました。その後、この2社が合併し、社名も現在の東通インテグレート株式会社に変更され副社長に就任、2011年には、代表取締役社長に就任し、現在に至っております。グループ会社の東通企画で22年勤務、現在の東通インテグレートで16年、38年間のビジネス人生でございます。

2. 会社紹介

東通インテグレート株式会社は、1964年に創業し、今年で60年を迎えます。創業のきっかけは、創業者である父が東京で旅館の帳場と客室を結ぶ内線電話の便利さに感銘を受けたことがきっかけとなり、宮城県内の電話交換機工事を主軸に事業をスタートしました。現在では、ICT（情報通信機器）の販売やコンサルティングを全国規模で展開しています。弊社の事業は、2つの柱を持ちます。ひとつは、電話交換機、カメラ、Wi-Fiネットワーク、顔認証システム、ナースコールや入退室管理システムなどをワンストップで提供するICT機器関連。もうひとつは、WEBを中心とした広告戦略や販売促進のコンサルティングです。仙台をはじめ、東京、大阪、福島に拠点をもちながら、全国での事業展開を進め、様々な業種のお客様に対応し、365日安心体制でサポートを行っております。お客様との信頼関

係を大切に、新しい技術を取り入れながら、更なる発展に向けて挑戦を続けております。

3. 事業のコンセプト

事業のコンセプトとして掲げている「デジタルの力でお客様の困りごとを解決していくこと」は、私たちの事業活動の中核を成しています。通信、映像、ネットワーク、広告の力を最大限に活用することで、顧客のビジネスをより便利で軽やかに、そして効率的にサポートすることを目指しています。これにより、大幅なコスト削減、利便性の向上、情報共有の促進、そして AI 化の提供が可能となります。商品を手ただ販売するだけではなく、常に顧客の視点に立ち、課題を解決する道を探る姿勢を大切にしています。そのためには、社内の業務効率化をはじめ、各企業のニーズに応じた5つの観点からの提案を行っており、これが我々の強みです。



こうした事業のコンセプトを形にできたのは、宮城学院での貴重な学びと経験があったからこそと考えております。私は学生時代の経験が、いかに現在のビジネスの進め方に影響を与えているかを振り返り、これから皆さまにお話ししたいと考えております。

4. 宮城学院での学生生活

宮城学院での学生生活は、私にとって人生の転機となる貴重な時間でした。地元の女子大学としての高いブランド力に魅了され、両親の強い希望もあって、宮城学院以外の大学は考えていませんでした。そして、桜ヶ丘に移転して3年目、新しく美しい校舎に通い始めたとき、私の夢に見た大学生活がスタートしました。冬には強風にさらされながらの通学、そして夏にはキャンパス内のベンチで友人とランチを楽しむ日々を過ごしました。自由で開放的な校風は私には心地よく、充実した毎日を過ごしておりました。確か、車通学は許可されていなかったように記憶していますが、実はこっそり車で通学しておりました。そのため、駐車を校門入り口の警備員にお願いし、特別に駐車させていただく交渉するようなこともありました。また、旅行の日程が試験日と重なった際には、教授に相談して特別に試験日を設けてもらうなど、自由奔放な行動は今振り返りますと恥ずかしい限りですが、受け入れて頂けたことは良い大学であったと思います。



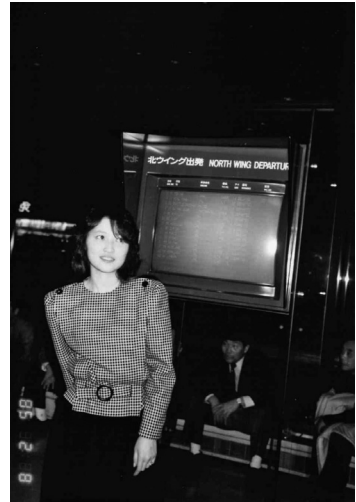
桜ヶ丘に移転した頃の宮城学院

私の母は、専業主婦で、それが当た

り前の環境で育ったため、卒業後の進路については特別なキャリア志向も無く専業主婦になるものと漠然と考えていました。学内の求人票には「容姿端麗、秘書募集」といった言葉が並び、いかにも昭和の時代を感じさせますが、これもまた宮城学院ならではのものでした。ちなみに、卒業論文は、「源氏物語の服飾について」をテーマにいたしましたので、ちょうど今 NHK で放送中の「光る君へ」を視聴しながら、懐かしく思い出しております。

5. 学生時代の経験～リーダーシップ～

学生時代、私はアルバイトとサークル活動に積極的に取り組み、充実した学生生活を送りました。もちろん授業に欠かさず出席しましたが、ファッションビルのオープン時にアルバイトをしたり、店舗でスタジオ放送に携わったりもしました。特に、プロの DJ と共にラジオ番組を担当したことは強烈で、当時の花形であるマスコミ業界に興味を抱くことにつながりました。こうした活動を通じて、自然にリーダーを任されるようになり、多くの工夫を重ねながら、スタッフ管理やシフト調整を行いました。遅刻や急な欠席には迅速に対処しながら、メンバーとの絆を築くことが業務を円滑に遂行できることだということも学びました。また、テニスサークルではビジネスとは異なる友情を育む中で、目標に向かう大切さを実感しました。さらに、宮城学院の 100 周年記念行事に関わる機会を頂戴したことが、広告業界に興味を持つ大きな転機となりました。後に宮城学院 130 周年新聞広告の特別対談の機会も頂き、宮城学院の節目にかかわる機会をその都度頂いたことに、深い感謝とご縁を感じております。



学生時代、中国への留学生
支援で長春市へ出発

こうして、学生時代に自然と身につけたリーダーシップは、様々な人々と協力しながら自ら前に立つ経験となり、現在のビジネスにも大いに役立っています。男子優位の社会の中で、女子大学という環境で自発的に行動できたことが、リーダーシップを養う良い機会となり、宮城学院での経験は、女性経営者としての自信と強い土台として、私の原動力になっています。

6. 社会人としてのスタート

社会人としてのスタートは、父の経営する会社のグループ企業であるハウスエージェンシーへの入社から始まりました。両親も、働いてすぐに家庭に入ることを想定していたようで、大きな期待はありませんでした。初めての職場では、自社のテレビ CM を制作する程度の業務が中心で、実質的な外部営業はありませんでした。加えて、父の会社の社員

さんからは色眼鏡で見られることも多く、歓迎されているとは感じられない環境でした。スタッフは私を含めて3名と少数精鋭でのスタートとなりましたが、実質的には今でいう「起業」に近い状況でした。

学生時代に経験したスタジオでのアルバイトや、宮城学院100周年記念行事を通じて得た広告業界への興味、そして女子大学で自然に身につけたリーダーシップが、ここでの挑戦を後押ししました。この小さなチームの一員として、私は新たな活動を開始し、社会人としての第一歩を踏み出しました。

7(1). 経営者として～事業拡大～

経営者として事業の拡大を目指すにあたり、学生時代から抱いていた広告業界への興味が原動力となりました。宮城県内の企業を訪問し、営業活動を展開する中で、失敗を恐れず、様々なプロジェクトに挑戦しました。ラジオ番組の企画や大学パンフレットの制作にコピーライターやスタイリストとして自ら参画し、初めての仕事にもひたむきに取り組むことで、多くの経験を積むことができました。

しかし、想像以上に男社会である広告業界での事業拡大には困難も多くありました。夜の会食やお付き合いが重要視される中で、若かった私はそこにしっかりと参加する事がなかなか出来ず、限界を感じていました。

悩んでいたところ、地元の経営者の方から、美容医療の開業を考えている先生方の集客を女性ならではの視点で手伝って欲しいというお話をいただきました。このお話をきっかけに、女性ならではの提案が多くある場面が役立つことに気づき、美容医療開業支援事業を立ち上げることを決意しました。これが新たな事業の柱となり、事業拡大への大きな一歩を踏み出すこととなりました。



インターンシップの学生たちへ会社紹介

7(2). 経営者として～発想～

美容医療業界の開業支援のコンサルをスタートしましたが、その中で分かったことは医療業界の広告規制の厳しさです。医療では診療科目と院長名やクリニック名以外、広告として打ち出すことが出来ないことなど、医療に関する広告規制が厳然として存在しており、これまでの広告手法では集客の効果を発揮することができないことが、より一層分かってきました。丁度この時期は、都内にYahoo!とGoogleの日本法人設立が発足し、急速にインターネットの活用がスタートした時期と重なります。そこで、インターネット広

告に注目し、Yahoo! と Google の取引を開始するために、認定資格を取得することになります。このネット広告を活用した結果、女性の集客コンサルティングに成功し、東京や大阪などの大都市圏で約 20 年間、開業支援を展開することができました。

このインターネットのノウハウを現在では様々な業種の企業様の採用や集客支援やマーケティングに活かされています。現在は web 専門のスペシャリストが多数在籍し、日々お取引先の皆様の運用支援や管理を担っております。

7 (3)．経営者として～リーダーシップ～

2008 年父の強烈なリーダーシップの中で、父の本業である東京通信機株式会社と私が在籍する東通企画株式会社の 2 社が合併することになります。私が副社長に就任したのは、2008 年に東京通信機株式会社と東通企画株式会社が合併して新会社東通インテグレート株式会社が誕生した際でした。インターネットが普及する中で、広告のビジネスが情報通信の仕事と重なり合う状況が生まれ、これにより両方のビジネス分野を活用した形でマーケットの変化に対応できる可能性が見えてきました。その後、2011 年東日本大震災の年に父親から会社を引き継ぎ、代表取締役社長に就任することになりました。広告業界から情報・通信業界へと私にとっては新たな挑戦であり、融合した 2 社が持つ異なる専門性を、一つの会社としてまとめ上げるのは容易なことではありませんでした。新たな挑戦への不安もありましたが、前職での社長経験や、自分の組織を引き連れ合併したことは私の支えともなりました。

東通インテグレートの経営者として引き継いだ際に、私が感じた最も重要なことは、会社の将来の在り方を示すことです。社員たちに対して、わが社が何を目的とする会社なのか、そして将来どのように進んでいくのかを明確に伝えることが不可欠だと考えました。父が築き上げた事業の基本理念を土台に、私はこれを自分なりに解釈し直し、現代のマーケットに適したコンセプトを打ち出すことに心を砕きました。具体的には、弊社の事業コンセプトを「お客様の課題をデジタルの力で解決する」に定義し、そして、このコンセプトを基に、ビジネスを実行・継承しています。

就任当初、男性が大多数を占める情報通信業界では、「女性の社長で大丈夫か？」という社外からの目に直面することがありました。業界の会合で、技術系の質問に答えて、かえって驚かれたり、二代目という立場への偏見を経験したり、名刺交換の場面では、名刺の交換を私の前だけ飛ばされたり…など、男性社員と同行すると女性アシスタントに間違われることもしばしばありました。一



仕事風景

方では親切に指導いただける方々もおりまして、今でもお付き合いを続けながら感謝致しております。こうした経験をする中で、私は率先垂範の姿勢を心がけ、常にトップ自らがチャレンジし手本を示すことを意識しました。特に新たな顧客の開拓に自ら取り組むことで、社員との信頼関係を築いてきました。また、女性ならではの強みを活かし、コミュニケーションの場では常に相手の興味関心に耳を傾けるよう聞き役になることで、より緊密な関係を築くことが出来るようになりました。

代表者になり、13年が経過した今、私は目まぐるしく変化するデジタルの世界の中で、今後の会社の方向性を再考・挑戦を続けようと改めて決意しています。目指すべき方向性の一つは、会社のさらなる拡大であり、全国への展開を一層推進することです。もう一つは、デジタルの力を活用してお客様の課題をより深く解決することで、その取り組みをさらに発展させることです。創業当初から扱っている固定電話が現在はスマートフォン中心に置き換わり、さらに企業のDX化の促進へと時代が変わる中、弊社の使命は、クラウド化やAI化を通じて企業の業務効率を向上させることだと再定義しております。私たちは、「10人でできることを一人で」という理念を念頭に、社会の変化に柔軟に対応し、持続可能な成長を実現していきたいと考えています。

私たちは、日々変化する社会のニーズを敏感に捉え、新しいソリューションを提案するために社員ともども学び続けています。今年はミャンマーから高度外国人材を採用し、多様な視点を取り入れることでグローバルな視野を育み、将来的な海外展開も視野に入れています。これからも新しいビジネスモデルの構築を目指し、社員一人ひとりが力を発揮できる環境作りを通じて、価値の向上と社会貢献に努めて参ります。

8. 大学への感謝

最後になりますが、自由に伸び伸びと豊かな4年間で過ごすことが出来ましたこと、宮城学院での学びに心から感謝申し上げます。貴学の今後の益々のご発展を祈念致しております。



創立記念講演（写真右）

佐藤博美（さとうひろみ）氏略歴

宮城県仙台市出身

1986 年 3 月 宮城学院女子大学 学芸学部 家政学科卒業、同年 4 月 東通企画株式会社入社

1998 年 4 月 東通企画株式会社 常務取締役就任

2001 年 4 月 東通企画株式会社 代表取締役就任

2008 年 5 月 東通企画株式会社と旧東京通信機株式会社（ICT 機器の販売・施工・メンテナンス業）が合併し、社名を東通インテグレート株式会社に変更

2011 年 5 月 東通インテグレート株式会社 代表取締役社長就任

2024 年 9 月 現在に至る



宮城学院女子大学における「自校史教育」の実践 —「主体的な学び」の実現に向けた試行錯誤の軌跡

小羽田誠治

はじめに

宮城学院女子大学（以下「本学」という）においては、2020年度より「自校史教育」が開始された。その開始までの経緯と最初の2年間の実践については、『宮城学院資料室年報「信・望・愛」』第29号において「宮城学院女子大学における「自校史教育」の実践—コロナ禍での出発」として報告した通りである。本稿では、その後、即ち2022年度から2024年度までの3年間の実践の様相を報告し、あらためてその成果や課題について考察するものである。

本学では、2022年度からは、すべての授業が原則として対面形式で行うこととなり、よって本授業も、いわゆるコロナ禍を脱却して、ポストコロナ時代として再出発したものと位置づけられる。もちろん、コロナ禍以前の授業はすべて対面で行っていたのであるから、そこには何の不自然さもあるはずがない。ところが、授業担当者の私自身としては、一度コロナ禍におけるオンライン授業を経験し、しかもそれが本授業の始まりだっただけに、対面授業というスタイルにかえって戸惑いを覚え、苦悩と試行錯誤に満ちた3年間になったことを、あらかじめ白状しておきたい。私の未熟さをも克明につづることで、私自身が今後の授業改善のための手掛かりとするとともに、読者諸氏にとっても参考にできるものになれば幸いである。

1. コロナ時代を引きずった2022年度

2022年度からは、通史としての「自校史教育」は2年次対象の選択必修科目「リベラルアーツ基礎 D (MG 史)」においてのみ実施する体制となった¹。授業形式が対面になったとはいえ、過去の実績を踏まえて、内容に大きな変更は加えないこととし、教科書を「光あおいで」と定め、うえて、「授業概要」「到達目標」「授業計画」は、以下のようなシラバスで授業を実施することとした。

¹ 本科目の目的や開講形態の変遷等については、小羽田誠治「宮城学院女子大学における「自校史教育」の実践—コロナ禍での出発」『宮城学院資料室年報』第29号、2024年3月（以下、小羽田（2024.3））を参照されたい。

授業概要	この授業では、宮城学院の創立から現在までの歩みを振り返ります。 歴史とは本来、人々の生きた営みの結果として紡がれてきたことを見返すことで、人や世の中を理解し、自分を理解するためにあります。皆さんが1年間すごしてきたこの宮城学院の歴史を振り返ることは、自分の立ち位置を見直し、新たな道を見つけ出す助けになることでしょう。 授業は、講義を軸としてときに学生同士の話し合いを交え、双方向による深い理解を目指します。
到達目標	この授業では、以下の事柄を目指します。 1. 宮城学院が、誰のどのような思いで「創られた」のかを理解する。 2. 宮城学院の歴史において、様々な時代を「生き抜いた」先達の歩みや思いを理解する。 3. 宮城学院の歴史のなかに自分を位置づけ、これからの「生きる」道に誇りを持つ。 4. 宮城学院を理解することで、宮城学院のことを少し好きになる。
授業計画	この授業では、以下の内容を対面形式で行う。学期進行中に遠隔授業に切り替わった場合については別途指示する。 第1回：導入（共通課題の説明等）、「ある同窓生」 第2回：「誕生まで」 第3回：「授業開始」、「ストライキ」 第4回：「第一回生卒業」、「はね駒」 第5回：第1～4回の内容をふまえて共通課題について話し合う 第6回：「女性校長」、「校舎全焼」 第7回：「日本人教師」、「ハンセン・リンゼー」 第8回：「文学会とクリスマス」、「ファウスト校長」 第9回：「試練の時代へ」、「戦時下」 第10回：第6～9回の内容をふまえて共通課題について話し合う 第11回：「仙台空襲」、「再建」 第12回：「文化の殿堂」、「成長」 第13回：「桜ヶ丘へ」、「期にいたりて」 第14回：OG職員たちへのインタビュー 第15回：第10～14回の内容をふまえて共通課題について話し合う

変更点は以下の3つである。

- (a) 「授業概要」には「授業は、講義を軸としてときに学生同士の話し合いを交え、双方向による深い理解を目指します。」という文言を加えた。
- (b) 「到達目標」では、「創る」「生きる」といった文言を強調した。
- (c) 「授業計画」では、3回のディスカッションの回を設けた。

比較的形式的な(b)の点から説明すると、これはこの科目が属するカテゴリーである「リベラルアーツ基幹科目」の3つの柱である「問う」「生きる」「創る」²を、シラバスの「到達目標」で明示しようという、一般教育部内での申し合わせによるものである。この授業

² この3つの柱については、小羽田（2024.3）において、自校史教育との関係にも触れつつ論じている。

では、「問う」ことについてはそれほど注力できなかったが、「生きる」と「創る」の2点については、歴史を語ること自体でわりとストレートに伝えられたのではないと思う。

(a)と(c)は、互いに関連することであり、かつオンラインから対面へと切り替わったことで、強く意識したことである。もちろん、これは昨今の教育業界や文部科学省が推進する「アクティブ・ラーニング」³をも念頭に置いたものである。この科目は講義科目のため、演習科目に比べて受講者が多くなることが予想されるとはいえ、教員からの単方向的な語りに終始する授業は避けなければならないと考えてのことである。なお、ディスカッションのテーマは、本授業の期末レポート課題である「宮城学院の理想は実現されたのか？」とした。

このように、対面授業ならではの工夫を取り入れたものではあったが、上述のように、内容を大幅に変えることはせず、あくまで「教科書を軸に詳しい解説を加える」ということが講義の中心であったのは、今から振り返ると、やや安直だったかもしれない。以下、考察を進めるにあたって、授業終了時に実施された授業評価アンケートの結果を先に示す⁴。

2022 年度授業評価アンケート（回答人 18 人／対象人 38 人）

番号	設問	平均値
問 1	教え方（教授法）はわかりやすかった。	3.44
問 2	授業資料はわかりやすかった。	4.00
問 3	授業内容を理解できた。	3.61
問 4	この授業を受講して、身についたことがあった。	3.50
問 5	自ら進んで課題を発見し、探究する力が身についた。	3.83
問 6	この授業を受けて、興味が広がった。	3.22
問 7	この授業を意欲的に受講できた。	3.11
問 8	総合的に判断すると、この授業は良い授業だった。	3.28
問 10	到達目標に則って授業が展開されていたと思いますか。	4.17

2022 年度からは授業評価アンケートの設問が大きく変わり、設問の順序や表現レベルまで厳密に対応させようとすると、過年度と比較することはほぼできないのだが、それで

³ アクティブ・ラーニングに関する個別研究は枚挙に暇がない。ここでは多少使い古された感はあるが、文部科学省中央教育審議会（2012.8.28）「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）」を挙げるにとどめる。

⁴ 問 9 は「シラバスに掲載されているこの授業の到達目標について、授業の合間に説明がありましたか。」というものであり、授業の成果を考察する本報告において取り上げる必要はないと判断した。

も小羽田 (2024.3) に掲載した 2021 年度の 2 年生を対象としたアンケート結果と比べると、大いに劣ると言わざるを得ない結果となった。具体的には、2021 年度のそれがほとんどの設問において 4 点を超えていたのに対して、2022 年度ではほとんどが 3 点台にとどまっていたのである。特に問 6～8 においては、3 点台前半という、惨憺たる結果だった。「教科書を軸に詳しい解説を加える」という点では、両年度でほぼ同内容の授業を行ったはずである。しかし、受講生からすれば、文章中心の授業資料を自分のペースで読む（読まざるを得ない）というスタイルでは意欲的に学ぶことができて、対面授業の場で教員の説明を聴くというスタイルでは物足りなさを感じていたことが推察される。

とはいえ、設問を注視すれば、もう少し考察を深めることもできる。1 つは、問 5「自ら進んで課題を発見し、探究する力が身についた。」についてである。これは両年度とも同一の設問になっているが、これについては両年度ともに 3.83 点だった。興味深いことに、2021 年度においては唯一 4 点を下回った設問だったのに対して、2022 年度においては相対的にかなり上位の評価を得ているのである。これはおそらく、上述したようにアクティブ・ラーニング形式による探究学習的要素を取り入れた成果だとみなすことができるだろう。この設問が、この授業に限らず、全学的にボトルネックとなっていることは、小羽田 (2024.3) 26 頁の表からも知ることができるが、2022 年度の「リベラルアーツ基礎 D (MG 史)」においては、むしろここに価値を感じるような授業になっていたようである。

もう 1 つは、新たに加わった設問 10「到達目標に則って授業が展開されていたと思いますか。」についてである。授業というものは、教学マネジメントという観点からすれば、適切な到達目標を設定し、そこに到達させることが至上命題であり、それゆえ、本設問はこの表にある設問のなかで最も重要なものである。あくまで先に掲げたシラバスの到達目標が適切であったと仮定しての話ではあるが、これが全設問中で最も高い評価であったことは、授業の方向性としては適切であったことを示している。

以上をまとめると、2022 年度の自校史教育は、コロナ時代の成功に甘んじて対面授業における授業展開の工夫を怠ったという点に大いに問題があったが、グループワークの試みによって新たな展望が開けた面があったと言えよう。これらをどのように関連づけて授業を改善するか、それが 2023 年度に課せられた課題であった。

2. 主体的学習への手応えをつかんだ 2023 年度

2023 年度に変更した点は、シラバス上では「授業計画」の項目のみであったので、まずはそれを掲載する。

	この授業では、以下の内容を対面形式で行う。学期進行中に遠隔授業に切り替わった場合については別途指示する。 第1回：導入（課題の説明等）、「ある同窓生」 第2回：第3～5回の内容を話し合いながら学習する
--	--

授業計画	第3回：「誕生まで」 第4回：「授業開始」、「ストライキ」 第5回：「第一回生卒業」、「はね駒」 第6回：第7～9回の内容を話し合いながら予習する 第7回：「女性校長」、「校舎全焼」 第8回：「日本人教師」、「ハンセン・リンゼー」 第9回：「文学会とクリスマス」、「ファウスト校長」 第10回：第11～14回の内容を話し合いながら予習する 第11回：「試練の時代へ」、「戦時下」 第12回：「仙台空襲」、「再建」 第13回：「文化の殿堂」、「成長」 第14回：「桜ヶ丘へ」、「期にいたりて」 第15回：OG職員たちへのインタビュー
------	---

2022 年度からの変更点は、(a) 授業での説明に PowerPoint を用いてビジュアル面を強化したこと、(b) 教科書の読解と授業での解説のための手法として「図解（ロジックツリー）」を導入したこと、(c) ディスカッションを予習形式にしたこと、(d) 期末課題レポートのテーマを「宮城学院ではどんなことを学ぶべきか？——歴史が現在に伝えてきたこと——」としたこと、である。この 4 点は一見バラバラなようで、すべてつながっているので、まずはこれを説明する。

2022 年度の授業において学生の興味を十分に引き出すことができなかった要因として、説明の仕方に工夫が足りなかったと考えられることはすでに述べた通りで、そこで (a) の改善案を実施した。しかし、そうしたテクニカルな問題だけで解決できるようには思われず、そもそも到達点（期末レポート課題）に問題があったのではないかという仮説を立てた。即ち、到達点が受講生にとってより有意義に感じられるものであれば、かつそれが本来目指すべき到達点により合致したものであれば、そこに向かう授業展開に作り替えることで、より良い授業になるのではないかと、いうわけである。

そのように考えて、まずは期末レポート課題を見直した。2020 年度以来の「宮城学院の理想は実現されたのか？」は、「宮城学院の理想とは何か」という「建学の精神」を問うもので、悪くないテーマだとは思っているが、やや「他人ごと」として捉えてしまうきらいがあるのではないかと危惧された。そこで、歴史を「自分ごと」として捉えてほしい——これは到達目標から見ても妥当である——という思いから、上記 (d) のように改めたのである。副題として歴史を踏まえるべきものと明示しておけば、「建学の精神」を見過ごすこともなかろうと考えた。

そのうえで、「教科書をどのように使うか」という点に思考が及んだ。これまでは「教科書やその解説を読ませる」ことにしか意識を向けていなかったが、テーマが「どんなこと」であるからには、「いくつかの論点」に抽象化したくなる仕掛けを作るべきだと思われた。そこで、(b) の「ロジックツリーによる図解」を思いついたのである。

第1回の授業では、「たとえば」ということで、教科書の「ある同窓生」を題材に、ここに書かれている内容は、図1のように、左側の「問い」の部分と、それに対する右側の「根拠」の部分に分けられ、そのうえで下側のような「主張」を導くことができるだろう、ということを示し、そのうえで主

として右側の部分について、その詳しい根拠となる情報を、教科書その他の資料から挙げて、解説していった。そして、第2回以降の授業では、図2のフォームに記入する形で、教科書を読んでこのような「図解」を作成するという「予習」をさせたのである。

図2：事前準備シート（2023年度）

「リベラルアーツ基礎D(MG史)」事前準備シート

学籍番号	氏名
------	----

「」内容図解

問い	構成
結論	

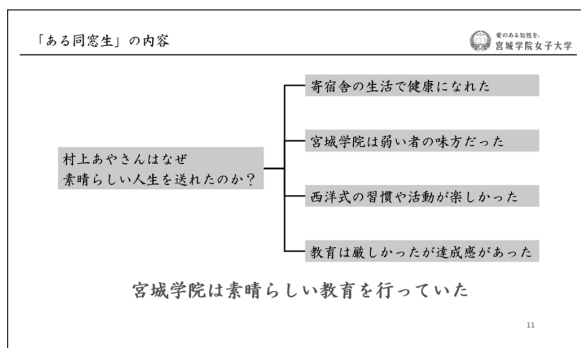
「」内容図解

問い	構成
結論	

意見、感想、質問等

--

図1：ロジックツリー例



もちろん、これは教科書を漫然と読んでキーワードをつなげるような「要約」に比べて、格段に難しい課題である。そこで、各自が「予習」に取り組む前に、この授業の場でグループワークとして第2回、第6回、第10回には「予習のための予習」をしようというのが、変更点の(c)である。このようにすることで、宮城学院がどのような歴史を歩んできたのか、絶えず「問い」と「根拠」と「主張」を持ちつつ理解してもらい、ちょっとした探究学習を目指したとも言えるだろう。これが4つの変更点に通底した意図である。

このような授業展開がどのような成果に結びついたのか、ここでもまた授業終了時に実施された授業評価アンケートの結果を先に示す。

2023 年度授業評価アンケート（回答人 22 人／対象人数 46 人）

番号	設問	平均値
問 1	教え方（教授法）はわかりやすかった。	3.55
問 2	授業資料はわかりやすかった。	3.50
問 3	授業内容を理解できた。	3.77
問 4	この授業を受講して、身についたことがあった。	3.64
問 5	自ら進んで課題を発見し、探究する力が身についた。	3.45
問 6	この授業を受けて、興味が広がった。	3.91
問 7	この授業を意欲的に受講できた。	3.50
問 8	総合的に判断すると、この授業は良い授業だった。	3.82
問 10	到達目標に則って授業が展開されていたと思いますか。	4.23

2023 年度の設問は 2022 年度と全く同じであり、回答率も 5 割弱とほぼ同じであるため、比較には適している。比較も踏まえたうえでの結果は、おおよそ以下のようにまとめられるだろう。

向上した設問	問 1、問 3、問 4、問 6、問 7、問 8、問 10
低下した設問	問 2、問 5

一見してわかる通り、受講生による評価は、全 9 項目のうち、7 項目において向上、2 項目において低下した。特に、「興味の広がり」「意欲」そして「総合評価」に比較的大きな向上が見られ、全体として見れば、授業は改善されたと言えるのではないだろうか。

他方、低下した設問にも注意が必要である。というのは、すでに述べた通り、今回の授業改善の方向性として「探究学習」を意識したのだが、こちらの意図に反して、その設問において低下が見られたからである。これはどういうことだろうか。

問題を解くカギは、もう 1 つの低下した項目にあるように思われる。即ち、「授業資料がわかりにくかった」のである。では、何がわかりにくかったのかというと、問 3 において（若干ではあるが）向上が見られる以上、講義内容そのもののわかりにくさだとは考えにくい。よって、課題として提示した「ロジックツリー」がわかりにくかったと考えられる。

今回新たに導入したロジックツリーは、「問い」「根拠」「主張」のすべてを学生自身で考えさせるものであったが、そうすると必然的に自由度が高くなる。具体的には、「問い」の立て方が変われば、それに答えるための根拠も変わってくるものであるから、実に多様なロジックツリーが作られることになる。もちろん、そのことは授業前から想定しており、

私自身はそれを学生一人一人の「多様性」として肯定的に捉えたものだったのだが、いざ「グループワーク」を実施して、その「多様性」を学生同士が実感したとき、そこでの反応が確かに私の想定とは異なっていたのである。

学生たちは、あまりに多様なロジックツリーが準備されてくるゆえに、これをもとにディスカッションを進めるのに当惑していたように思われる。あるいはディスカッションの結果、「問い」がある程度定まったとき、別の「問い」を設定した学生は、これに基づいて準備してきた「根拠」や「主張」の多くが無駄になったように感じたのではないか。また、このように前提があまりにも異なるロジックツリーの書き方をいくつ見ても、自ら作成するものが良かったのか良くなかったのか、反省して次に活かすことも難しかったのではないか。ひと言で言うなら、グループワークは学びにつながらなかったのだった。

しかしながら、ロジックツリーを導入したこと自体が間違いだったとは考えられない(考えたくない)。学生自身が教科書の情報を有機的に関連させながら読み解くこと、各自が読み解いた結果をもって他者と話し合っ互いに参考にすること、それを踏まえて教員の解釈や解説を聴くことは、受け身で知識を得ることが基本だったこれまでの講義から脱却するのに必要不可欠な一連のプロセスであろう。この矛盾をどう解決するかということが2024年度へ向けた課題として残されたのであった。

3. 授業スタイルを確立できた2024年度

2024年度に何を改善するべきか、ある意味では明確であった。上述のように、最大のボトルネックは「問い」を学生に見つけさせたことによる議論の拡散である。「問い」の設定は探究学習の基本ではあるが、このような数十人もの受講者がいるクラスにおいて、個別の問いに対応したディスカッションを実施するのは容易ではない。「問い」の重要性は知りつつも、この授業においてはそこを断念する他はないという結論に達した。

となると、2023年度の授業においてすでに、各回において私自身が設定する「問い」はあったのであるから、図3のように、その「問い」を所与のものとして用い、残る部分を記入させるロ

図3：事前準備シート（2024年度）

「リベラルアーツ基礎D(MG Ⅱ)」ロジックツリー(第4回授業用)		
学籍番号	氏名	
授業開始		
問い	主張(解釈)	根拠(事実)
宮城学院の評判は良かったのか？		
スタイル		
問い	主張(解釈)	根拠(事実)
スタイル事件はなぜ起こったのか？		
質問、意見、感想等		

ジックツリーに改変すれば良いのである。

ちなみに、「問い」は以下の方針に基づいて作成した。

- ・教科書の情報を満遍なく読み解いて答えるものであること。
- ・議論の拡散を防ぐため、「AはBなのか？」あるいは「なぜAはBなのか？」の形式に限定すること。

その結果、2024年度の授業で私が学生に提示した各回の「問い」は以下の通りとなった。

見出し	設定した問い
ある同窓生	村上あやさんはなぜ素晴らしい人生を送れたのか？（サンプル）
誕生まで	宮城学院はなぜ誕生したのか？
授業開始	宮城学院の評判は良かったのか？
ストライキ	ストライキ事件はなぜ起こったのか？
第一回生卒業	宮城学院は良い教育を行っていたのか？
はね駒	磯村はるは宮城学院を代表する女性なのか？
女性校長	女性校長たちは理想的な学校運営ができたのか？
校舎全焼	校舎全焼は宮城学院に危機をもたらしたのか？
日本人教師	宮城学院はなぜ地域に根づけたのか？
ハンセン・リンゼー	ハンセン・リンゼーはなぜ人気なのか？
文学会とクリスマス	宮城学院の生徒は活発だったのか？
ファウスト校長	ファウスト校長は満足だったのか？
試練の時代へ	クリーテ校長は宮城学院を発展させられたのか？
戦時下	戦争は宮城学院の教育を崩壊させたのか？
仙台空襲	宮城学院は最大の試練にうまく対処できたのか？
再建	宮城学院はなぜ復活できたのか？
文化の殿堂	宮城学院は仙台市民の希望だったのか？
成長	宮城学院は理想的な学園だったのか？
桜ヶ丘へ	宮城学院はなぜ桜ヶ丘へ移転したのか？
期にいたりて	宮城学院の建学の精神は継承されているのか？

これらの「問い」を軸に、教科書の情報を根拠として学生たちにロジックツリーを作成させ、考察を行わせたところ、前年度に比べて積極的なディスカッションが行われたと同

時に、学生の読解の傾向がつかめるようになり、またそれをクラス全体に向かって共通の改善点として話すことができるようになった。具体的には、「精度の高いロジックツリーの作り方」として、以下のような指針を示すに至ったのである。

- 主張（解釈）は、

 - ・できれば複数挙げる
 - ・1つ1つはシンプルかつ大まかに（ひと言で）書く

根拠（事実）は、

 - ・できれば1つの主張（解釈）に対して複数挙げる
 - ・主張（解釈）の数に関わらず合計で4つか5つ挙げる
 - ・1つ1つを細かく正確に書く（文は動詞で終わる）
 - ・ただしそのまま抜き書きするのはなるべく避ける

学生たちはこのような指針を得ることで、ロジックツリーのレベルはしだいに向上し、それにとまって予習の手応えを感じ、ディスカッションも益々活発になるという、好循環が感じられた。2024年度の受講生は、これまでの2倍近くの77人もいたにもかかわらず、出席率も毎回90%程度と高く、学生たちの充実ぶりがうかがえるだろう。

その結果として得た授業評価の結果は以下のものであった。

2024 年度授業評価アンケート（回答人 42 人／対象人 77 人）

番号	設問	平均値
問 1	教え方（教授法）はわかりやすかった。	4.26
問 2	授業資料はわかりやすかった。	4.29
問 3	授業内容を理解できた。	4.36
問 4	この授業を受講して、身についたことがあった。	4.14
問 5	自ら進んで課題を発見し、探究する力が身についた。	4.05
問 6	この授業を受けて、興味が広がった。	4.07
問 7	この授業を意欲的に受講できた。	4.19
問 8	総合的に判断すると、この授業は良い授業だった。	4.21
問 10	到達目標に則って授業が展開されていたと思いますか。	4.52

見てわかる通り、すべての設問において、2022 年度および 2023 年度を上回っていたのである。予習課題の難易度を下げ、自由な課題設定よりも読解力の向上と議論のしやすさ

に注力した結果、学生の能力・意欲・目的意識により合致した授業を展開することができた、とすることができよう。

以上、2022年度の反省から始まる授業改善のプロセスを、自身の試行錯誤の様相と定量的な評価に重点を置いて報告・考察してきたが、補足として2024年度の受講生による、この授業に対する総括的なコメントをいくつか紹介しておきたい。

- ・MG史の授業を通して毎時間宮城学院に関する新しい知識を得ることが出来たし、グループワークでは他学科他専攻の人とコミュニケーションを取りながら宮城学院の歴史について学びを深めることが出来て楽しかったです。授業資料の内容が詳しくてたくさんあったから、ロジックツリーの話を聞いて気になるところは授業資料に載っていて、気になっていたことをその授業内で知ることが出来たのも良かったです。レポート作成を通して今までより宮城学院で学ぶことへのモチベーションが上がりました。半期間ありがとうございました！（教育学科）
- ・この半期の授業を通して、宮学の歴史的背景に大きく関心が向くようになりました。以前は特にありがたみを感じることもなく大学に通っていましたが、今では様々な人々の思いからこの学院は生まれて、望まれてこの桜ヶ丘に存在しているのだ、今この環境で学んでいることは何か縁があつてのものなのだと感じるようになりました。自身の物事の捉え方の幅を広げるのに大きな影響を与えた授業でした。MG史を選択して良かったです。（食品栄養学科）
- ・ロジックツリーとグループ活動がとても良かったと感じています。ロジックツリーについて、毎週少しずつ、記事からの読み取りを行うのは、文章の読解やまとめの練習になりました。グループ活動では、どのように進行するか、他の人はどのような点に着目し、どのようにまとめるのか、参考になりました。一人では思いつかないアイディアがあるので、大変勉強になりました。とても良い経験だったと思います。授業資料を配っていただけるのも復習がしやすく、ありがたかったです。資料が多いほど、深い理解に繋がると 생각합니다。（日本文学科）

もちろん、ロジックツリーや授業資料について、その難しさや多さといったネガティブな側面を指摘するコメントもあった。だが、概ね高い評価を得ることのできた2024年度においては、それらは少数であったし、この「予習⇒ディスカッション⇒授業」のサイクルが、学生の学びにとっていかに有機的に働いたかを確認できる材料として、これらのコメントは参考になるだろう。

おわりに

自校史教育という非常に重要な任務を背負ったこの科目において、様々なチャレンジを

することは、考えようによっては随分と大それたことかもしれない。しかし、ただ教員が歴史を語るだけの授業では、おそらくは学生に十分には届かない。工夫は必須である⁵。とはいえ、「歴史が長い」わりに「移転してしまって歴史の痕跡があまりない」本学について語るならば、どうしても文字中心、座学中心にならざるを得ない。そのようななかで、「学生が興味を引く題材を用意する」という方向ではなく、あえて「歴史を学びながら思考力が身につく方法を考える」という方向を目指したのは、私の教育に対する志向でしかないわけだが、この方向は、本学のリベラルアーツ教育の理念に照らしても、おそらく間違っていない。受講生にとってこの授業が、豊かな人生を生きるための一助になるべく、今後も試行錯誤を繰り返していきたいと思う。

なお、最後になるが、この授業開始当初からの「工夫」として、「OG 職員たちへのインタビュー」がある。こちらの様子と学生からの好評ぶりについては小羽田（2024.3）で紹介しており、その点は現在も変わることなく続けているのだが、登壇者は若干変化している。2022年度と2023年度は太田富美子さん（1981～1982年短大教養科在籍、1982年に入職）、桑名佑桂さん（1991～2001年中高および大学人間文化学科在籍、2005年に入職）、森田滯さん（2015～2019年大学食品栄養学科在籍、2019年に入職）であった。2024年度は太田富美子さんに代わって音楽科副手の紺野聖子さん（1974～1984年中高および大学音楽科在籍、1984年に入職）となった。皆さんには毎年、学生たちに「生きた学び」を提供してもらっており、この場を借りて感謝の意を表したい。

（こはだ せいじ／宮城学院女子大学一般教育部教授）

⁵ 「工夫」という点で言えば、寺崎昌男・梅村修『追手門学院の自校教育』（追手門学院大学出版会、2014年2月）には、敬服に値する工夫の数々が著されている。



宮城女学校の戦時期学籍簿の検討（3） —1937（昭和12）年から1941（昭和16）年 入学生学籍簿一覧—

佐藤 亜紀

はじめに

これまで資料室では、1937（昭和12）年から1941（昭和16）年に宮城女学校に入学した生徒の学籍簿を基礎資料として、「1943（昭和18）年度卒業生の学籍簿—宮城高等女学校の「学校挺身隊」—」（2021年度）、「宮城女学校の戦時期学籍簿の検討—出身小学校の地域と保護者の職業—」（2022年度）、「宮城女学校の戦時期学籍簿の検討（2）—成績表と学科目の推移—」（2023年度）を『資料室年報』で発表してきた。

今年度は、学籍簿の記載項目について紹介し、個人情報を中心に考慮したうえで、宮城学院の歴史資料として残すべく、上記5年間に在籍した生徒416名分の記載内容の一部を一覧表として示す。表1は対象とした学年の、本稿での呼び名・入学年月・卒業年月・在籍生徒数を記したものである。

表1

	呼び名	入学年月	卒業年月	在籍生徒数 (名)
①	S12年次生	1937(昭和12)年4月	1942(昭和17)年3月	42
②	S13年次生	1938(昭和13)年4月	1943(昭和18)年3月	50
③	S14年次生	1939(昭和14)年4月	1944(昭和19)年3月	92
④	S15年次生	1940(昭和15)年4月	1945(昭和20)年3月	43
⑤	S16年次生	1941(昭和16)年4月	1945(昭和20)年3月	189

1. 学籍簿の書式、記載項目

学籍簿は入学年次ごと綴り込み表紙を付して綴じられ、表紙には卒業年が記入されている。用紙の大きさはA4サイズで両面印刷されている。当初は、A4サイズの紙に表裏印刷しただけだと考えていた。しかし、よく見てみると、用紙左端に「学籍簿用紙 宮城女学校高等女学部」の文字半分だけが印刷されている（写真1.学籍簿（表））。裏面は、右端に先ほどの文字残り半分が印刷されている（写真2.学籍簿（裏））。このことから、学籍簿用紙は、単に両面印刷したのではなく、まずA3用紙表面に学籍簿のすべての記載項目を印刷し、次に左右反転印刷、最後に用紙中央にあたる「学籍簿用紙 宮城女学校高等

次に、実際の学籍簿の写真、記載項目とその所見を表裏それぞれ示す。

写真1. 学籍簿 (表)

表 2. 学籍簿 (表) の記載項目とその所見

記載項目		所見
生徒	氏名	
	生年月日	
	入学年月日	
	卒業年月日	
	原籍	
	現住所	
	戸主トノ続柄	
	入学前ノ学歴	・ 出身小学校名、卒業年月はすべての年次にあり。「優等」などの記述は、S16年次生にのみあり
	転退学事由	
	転退学年月日	
戸主	族籍職業※	・ 職業の他に、県名、「士族」「平民」の族籍記載あり ※付属資料1にその内訳を記す
	氏名	
	現住所	
保証人	族籍職業	
	氏名	
	現住所 生徒トノ関係	・ 戸主が「父」以外の場合、ここに「父」との記載が多い
宿主	族籍職業	
	氏名	
	現住所 生徒トノ関係	・ 戸主や保証人が「父」以外の場合、ここに「母」との記載もある
身体検査表	検査年月、身長、体重、胸囲、坐高、比体重、比胸囲、比坐高、栄養、脊柱 (形態、疾病)、胸郭、眼 (視力、屈折異常、色神、眼疾)、耳 (聴力、耳疾)、鼻及咽頭、皮膚、歯牙 (虫歯処置、未処置、其ノ他ノ歯疾)、其ノ他ノ疾病及異常、概評、本人ニ封スル注意事項、備考	

付属資料 1. 「戸主 族籍職業欄」※ に見られる族籍記載の内訳 (名)

	S12年次生	S13年次生	S14年次生	S15年次生	S16年次生
生徒数	42	50	92	43	189
士族	5	6	1		7
平民	1				47

富城女學校高等女學部

— 44 —

表 3. 学籍簿 (裏) の記載項目とその所見

記載項目		所見
成績表	学科目／聖書、修身、作法、公民科、国語講読、漢文講読、作文、文法、習字、英語 (読方、読解、会話、文法、作文、習字)、歴史、地理、地文、数学、理科、図画、家事、看・衛・育、裁縫、手芸、音楽、教育、体操、総点、平均、判定、在籍生徒数、席次、可出日数、授業日数、授業時数、礼拝欠席度数、欠席日数、欠席時数、遅刻度数、備考	・『資料室年報』第 28 号参照 ¹
性行調査票	性質、品行、勤惰、言語、容儀、長所・短所、備考 (趣味 嗜好 特徴 境遇等)	・ S12 年次生は①第二学年から第五学年まで記入あり、または②第四・五学年記入ありの 2 パターン ・ S13 年次生は全学年記入なし ・ S14 年次生は①第五学年のみ記入あり、または②全学年記入なしの 2 パターン ・ S15 年次生は第五学年のみ記入あり ・ S16 年次生は第三・四学年記入あり
卒業後ノ状況		・ S12 年次生、記入あり ・ S13 年次生、記入なし ・ S14 年次生、記入あり ・ S15 年次生、記入なし ・ S16 年次生、記入あり
備考	受洗年月日 所属教会	

※表 2・3 の旧字体は新字体に改めた。

¹ 佐藤亜紀「宮城女学校の戦時期学籍簿の検討 (2) —成績表と学科目の推移—」、『宮城学院資料室年報』第 28 号、学校法人宮城学院、2024 年、57-72 頁。

2. 学籍簿データの一覧表

学籍簿は、生徒一人一人が学んだ過程を証明する原簿であり、宮城女学校の学籍簿は、今後、本学の歴史をより豊かに描くための基礎資料になるものだと考える。一方、学籍簿は、個人情報の集合体であり、個人情報保護の観点から慎重に扱われるべきものである。よって、今回、学籍簿データ一覧表の掲載に際し、特定の個人に結びつくような項目の掲載は行わず、これまでの「宮城女学校の戦時期学籍簿の検討」の論考で分析に使用した5項目、①入学年月日（表面掲載）、②卒業年月日（同）、③入学前の学歴（同）、④親の職業（同、戸主・保証人・宿主の族籍職業）、⑤卒業後の状況（裏面掲載）のみを一覧表にして公表することとした。これをもって、2021年度から4年におよび取り組んできた「宮城女学校の戦時期学籍簿の検討」の一つの区切りとしたい。

<凡例>

- ・漢字は、原則として旧字体を新字体に改めた。
- ・仮名づかい、送り仮名の表記は、原則として原文のままにした。
- ・誤記は原則「ママ」を付すが、訂正できるものは〔 〕内で補った。
- ・「学籍簿」原本は、あいうえお順に綴じられているが、個人の特定を避けるために順序を変えて掲載している。
- ・「親の職業」は、学籍簿の「戸主トノ続柄」欄をもとに、戸主の「族籍職業」欄に記載されている職業を記載した。ただし、戸主が「祖父」「叔父」で、保証人・宿主の「現住所生徒トノ関係」欄に「父、もしくは母」の記載がある場合は、保証人・宿主の欄の「族籍職業」を親の職業として記載した場合もある。
- ・「親の職業」で、戸主が父以外（祖父・兄・叔父）で保証人・宿主欄にも「父・母」の記載が見られない場合は、祖父・兄・叔父の職業を親の職業とし、生徒本人との関係を（ ）内に明記した。

（さとう あき／宮城学院資料室職員）

【学籍簿データ】 S12 年次入学生

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
1	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	連坊小学校卒業	無職	卒業後一時保母トシテ就職、 17年9月退職後家庭ニ在り
2	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	片平丁小学校卒業	食品製造業	専攻部英文科入学
3	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	片平丁小学校卒業	洋服商	専攻部音楽科入学
4	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	塩釜第二小学校卒業	会社員	専攻部音楽科一年入学
5	昭和15年12月1日	昭和17年3月	昭和12年3月	大西学園高女ヨリ四年ニ転入	会社員	専攻部家政科入学
6	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	宮城県官吏 (農産物検査所員)	日本銀行就職
7	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	木町通小学校卒業	靴商	朴澤松操学校高〔等〕師範科 入学
8	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	荒町小学校卒業	瓦斯メーカー製作工	専攻部英文科入学、第一学期 中途退学
9	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	片平丁小学校卒業	官吏	産業組合中央金庫就職
10	昭和16年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	普通連士女学校ヨリ第五学年ニ転入	大学教授	専攻部家政科入学
11	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	東二番丁小学校卒業	ミヤギ自動車会社代表	卒業後、朴澤松操学校高等師 範科入学、病氣ノ為メ第一学 期ニテ退学。昭和18年4月、 本校専攻部国文科入学
12	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	県土木部勤務 (兄)	専攻部家政科入学
13	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	立町小学校卒業	製本業	三井生命仙台支店就職
14	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	荒町小学校卒業	洋服商	専攻部家政科入学
15	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	片平丁小学校卒業	会社員	
16	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	岩沼小学校卒業	呉服太物商 (兄)	昭和17年3月 専攻部家政科入 学
17	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	岩沼小学校卒業	教員	専攻部英文科入学

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
18	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	宮城師範附属小学校卒業	官吏	東京薬学専門学校入学
19	昭和14年9月4日	昭和17年3月		フェリス和英女学校ヨリ第3学年ニ転入	会社員	英文科入学
20	昭和11年、昭和13年 4月8日復校	昭和17年3月	昭和11年3月	上杉山通小学校卒業	農	専攻部音楽科一年入学
21	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	塩釜第二小学校卒業	会社員	専攻部音楽科予科二年入学
22	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	荒町小学校卒業	無職	昭和16年12月日本銀行就職
23	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	釜石小学校卒業	洋品雑貨商	家庭
24	昭和15年4月8日	昭和17年3月		北星女学校ヨリ第4学年ニ編入	無記載	宮城県立女子専門学校国文科 入学
25	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	東二番丁小学校卒業	質屋	専攻部家政科入学
26	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	元官吏	専攻部家政科入学
27	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	菓種化粧品商	専攻部家政科入学
28	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	無職(祖母)	昭和16年12月卒業後、直チニ 七十七銀行就職
29	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	片平丁小学校卒業	教員	卒業後父ノ許ナル新京ニ行、 満洲林業会社就職
30	昭和11年4月8日	昭和17年3月	昭和11年3月	東六番丁小学校卒業	官吏	神戸女学院専攻部家政科入学
31	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	片平丁小学校卒業	無職(兄)	専攻部英文科入学 第二学期 ヨリ退学
32	昭和12年4月8日、昭和 16年1月15日復校	昭和17年3月	昭和12年3月	南会津郡大宮小学校卒業	工業	東京麻布安立工業会社就職
33	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	代書業	専攻部音楽科予科二年入学
34	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	東六番丁小学校卒業	米穀商	専攻部家政科入学
35	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	連坊小路小学校卒業	鉄道員	家政科入学

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
36	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	南小泉小学校卒業	官吏	宮城県女子専門学校国文科入学
37	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	無職 (母)	安田銀行就職
38	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	上杉山通小学校卒業	官吏	家庭
39	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	宮城師範附属小学校卒業	小学校校長	自由学院家政科入学
40	昭和12年4月8日	昭和16年7月転退学	昭和12年3月	東二番丁小学校卒業	会社員 (叔父)	
41	昭和12年4月8日	昭和16年4月30日退学	昭和12年3月	東二番丁小学校卒業	煙草小賣商	昭和16年4月30日、病气ノ為退学
42	昭和12年4月8日	昭和17年3月	昭和12年3月	東六番丁小学校卒業	無職 (母)	専攻部音楽科入学 第二学期ニテ中途退学

【学籍簿データ】S13 年次入学生

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
1	昭和13年4月8日		昭和13年3月	塩釜第三小学校卒業	会社員	
2	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	会社員 (祖父)	
3	昭和14年4月10日			洗足高女ヨリ第二学年ニ転入	会社員	
4	昭和15年4月8日			大阪ウィルミナ女学校ヨリ第三学年ニ転入	会社員	
5	昭和13年4月8日		昭和13年3月	榴岡小学校卒業	請負業	
6	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	会社員	
7	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	官吏	
8	昭和13年4月8日		昭和13年3月	東二番丁小学校卒業	石炭商	
9	昭和13年4月8日		昭和13年3月	榴岡小学校卒業	会社員	
10	昭和13年4月8日	昭和18年3月19日	昭和13年3月	八幡小学校卒業	教員	
11	昭和13年4月8日		昭和13年3月	荒町小学校卒業	官吏	
12	昭和13年4月8日		昭和13年3月	古川小学校卒業	新聞販売業	
13					無記載	
14	昭和13年4月8日		昭和13年3月	千貫小学校卒業	土木請負業	
15	昭和13年4月8日		昭和13年3月	荒町小学校卒業	大学助手 (兄)	
16	昭和15年4月8日			北星女学校ヨリ第三学年ニ転入	鉄道医	
17	昭和13年4月8日		昭和13年3月	東二番丁小学校卒業	洋裁業	
18	昭和13年4月8日		昭和13年3月	塩釜第二小学校卒業	会社員	
19	昭和13年4月8日		昭和13年3月	上杉山通小学校卒業	陶器商	
20	昭和13年4月8日		昭和13年3月	宮城師範学校附属小学校卒業	大学教授	
21	昭和14年4月10日			鶴岡高女ヨリ第二学年ニ転入	無職	
22	昭和13年4月8日		昭和12年3月	逢隈小学校卒業	農	

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
23	昭和13年4月8日		昭和13年3月	宮城師範学校附属小学校卒業	医師	
24	昭和16年6月21日			昭和16年6月大阪女学院ヨリ第四学年ニ転入	無記載	
25	昭和13年4月8日		昭和13年3月	上杉山通小学校卒業	軍医	
26	昭和13年4月8日		昭和13年3月	榴ヶ岡小学校卒業	鉄道官吏	
27	昭和12年4月8日		昭和12年3月	中村第二小学校卒業	公吏	
28	昭和13年4月8日		昭和13年3月	連坊小路小学校卒業	薪炭商	
29	昭和13年4月8日		昭和13年3月	塩釜第三小学校卒業	製函	
30	昭和13年4月8日		昭和13年3月	南小泉小学校卒業	無記載 (母)	
31	昭和13年4月8日		昭和13年3月	宮城女子師範学校附属小学校卒業	教員	
32	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	官吏	
33	昭和13年4月8日		昭和13年3月	吉田小学校卒業	農業 (祖父)	
34	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	会社員	
35	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	会社員	
36	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	医業	
37	昭和13年4月8日		昭和13年3月	連坊小学校卒業	官吏 (祖父)	
38	昭和13年4月8日		昭和13年3月	南材木町小学校卒業	新聞専売所主任	
39	昭和13年4月8日		昭和13年3月	上杉山通小学校卒業	書画売買	
40	昭和13年4月8日、昭和16年1月24日復校		昭和13年3月	東六番丁小学校卒業	官吏 (鉄道)	
41	昭和13年4月8日		昭和13年3月	東二番丁小学校卒業	新聞社長	
42	昭和13年4月8日		昭和13年3月	片平丁小学校卒業	無職 (祖父)	
43	昭和13年4月8日		昭和13年3月	福島県大宮小学校卒業	牧師	

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
44	昭和13年4月8日		昭和13年3月	東二番丁小学校卒業	歯科医師	
45	昭和13年4月8日		昭和13年3月	宮崎小高等科二年卒業	無職(母)	
46	昭和13年4月8日		昭和13年3月	長町小学校卒業	鉄道員	
47	昭和13年4月8日		昭和13年3月	榴岡小学校卒業	大工職	
48	昭和13年4月8日		昭和13年3月	青森市新町小学校卒業	無職(兄)	
49	昭和14年6月10日			北星女学校ヨリ第二学年ニ転入	満州国官吏(叔父)	
50	昭和13年4月8日		昭和13年3月	榴岡小学校卒業	牛乳搾取業(祖父)	

【学籍簿データ】S14 年次入学生

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
1	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	大谷小学校卒業	雑貨商	挺身隊造兵廠
2	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	鉄道機関士	挺身隊造兵廠
3	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	北五番丁小学校一年修了	無職	挺身隊造兵廠
4	昭和16年6月21日	昭和19年3月8日		大阪女学院ヨリ第三学年ニ転入	無記載	挺身隊造兵廠
5	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	商業	挺身隊造兵廠
6	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	東二番丁小学校卒業	菓子商	挺身隊造兵廠
7	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	東六番丁小学校卒業	官吏	挺身隊造兵廠
8	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	東二番丁小学校卒業	会社員 (兄)	挺身隊造兵廠
9	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	東二番丁小学校卒業	亜炭商	挺身隊造兵廠
10	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	女川小学校卒業	会社員	挺身隊造兵廠
11	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	東北学院書記	挺身隊造兵廠
12	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	北五番丁小学校高等科一年修了	農業	挺身隊造兵廠
13		昭和19年3月8日			無記載	挺身隊造兵廠
14	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	榴ヶ岡小学校卒業	会社員	挺身隊造兵廠
15	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	原町小学校卒業	鉄道官吏	挺身隊造兵廠
16	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	仙台機関庫炭水手	挺身隊員
17	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	鉄道局機関区員	挺身隊員
18	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	会社員 (叔父)	挺身隊員
19	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	教員	挺身隊員
20	昭和14年4月10日		昭和14年3月	片平丁小学校卒業	無職	挺身隊員
21	昭和14年4月10日		昭和14年3月	立町小学校卒業	造花商	挺身隊員
22	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	官吏	挺身隊員

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
23	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	帝国地方行政学会社員	挺身隊員
24	昭和14年4月10日		昭和14年3月	東二番丁小学校卒業	公吏	挺身隊員
25	昭和14年4月10日		昭和14年3月	片平丁小学校卒業	大工職 (祖父)	挺身隊員
26	昭和14年4月10日		昭和14年3月	北五番丁小学校高等科一年修了	農業	挺身隊員
27	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴ヶ岡小学校卒業	会社員	挺身隊員
28	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴ヶ岡小学校卒業	履物商	挺身隊員
29	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	鉄道官吏	挺身隊員
30	昭和14年4月10日		昭和14年3月	向山小学校卒業	無職 (祖父)	挺身隊員 三月入隊
31	昭和14年4月10日		昭和14年3月	男師附属小学校卒業	官吏	本校英文科入学
32					通信省官吏	本校英文科入学
33	昭和14年4月10日		昭和14年3月	宮師附属小学校卒業	官吏	本校音楽科入学
34	昭和14年4月10日		昭和14年3月	東京市立第三佳原小学校卒業	牧師 (祖父)	本校音楽科入学
35	昭和17年5月10日			上海居留民團立日本高等女学校	会社員	本校家政科入学
35	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴ヶ岡小学校卒業	公吏	本校家政科入学
37	昭和14年4月10日		昭和14年3月	片平丁小学校卒業	重炭商	本校家政科入学
38	昭和14年4月10日		昭和14年3月	志津川小学校卒業	農 (祖父)	本校家政科入学
39	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴岡小学校卒業	麵類商	本校家政科入学
40	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴岡小学校卒業	薬剤師	本校家政科入学
41	昭和14年4月10日		昭和14年3月	木町通小学校卒業	医療器械商	本校家政科入学
42	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	司法書士	本校家政科入学
43	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	官吏	本校国文科入学
44	昭和14年4月10日		昭和14年3月	荒町小学校卒業	新聞社社員	本校専攻科音楽科入学

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
45	昭和14年4月10日		昭和14年3月	片平丁小学校卒業	画家	本校専攻部家政科入学
46	昭和14年4月10日		昭和14年3月	片平丁小学校卒業	米穀商	本校専攻部家政科入学
47	昭和14年4月10日		昭和14年3月	槻木小学校卒業	新聞取扱	本校専攻部家政科入学
48	昭和14年4月10日		昭和14年3月	荒町小学校卒業	文房具商	本校専攻部家政科入学
49	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	会社員	本校専攻部家政科入学
50	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	官吏	本校体操科助教
51	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	片平丁小学校卒業	会社員 (兄)	宮城音楽科
52	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	荒町小学校卒業	商店員	宮城家政科
53	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	会社員	宮城英文科
54	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	向山小学校卒業	会社員	宮城家政科
55	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	片平丁小学校卒業	会社員	宮城家政科
56	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	木町通小学校卒業	家具製作販売	宮城家政科
57	昭和17年1月10日	昭和19年3月8日		日出高女ヨリ第三学年ニ転入	会社員	宮城家政科
58	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	官吏	宮城家政科
59	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	木町通小学校卒業	物品販売	宮城家政科
60	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	無職	宮城家政科
61	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	和洲小学校卒業	材木商	宮城家政科入学
62	昭和18年4月1日	昭和19年3月8日			銀行	宮城国文科
63	昭和15年9月2日	昭和19年3月8日		遣愛女学校ヨリ第二学年ニ転入	貿易商	東京興健女専
64	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	東六番丁小学校卒業	牛豚肉商	東北女子職業学校
65	昭和15年4月8日	昭和19年3月8日		岡山県第一岡山高女ヨリ第二学年ニ転入	牧師	宮城女子専門学校
66	昭和18年4月1日	昭和19年3月8日			無職 (母)	女子師範

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
67	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	片平丁小学校卒業	官吏	東北女子職業学校
68	昭和14年4月10日		昭和14年3月	塩釜第三小学校卒業	養殖業	県立保健婦学校入学
69	昭和14年4月10日		昭和14年3月	立町小学校卒業	商業	松操学校入学
70	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	片平丁小学校卒業	会社員	東京青山学院
71	昭和14年4月10日		昭和14年3月	南材木町小学校卒業	無職	東北女子職業学校入学
72	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	片平丁小学校卒業	貸室業	宮城女子専門学校
73	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	立町小学校卒業	会社員	家事手傳
74	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴岡小学校卒業	呉服商	
75	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	田尻小学校高等一年修了	無職(祖父)	家にて農事手傳
76	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	東小野田小学校卒業	農	病氣
77	昭和14年4月10日		昭和14年3月	立町小学校卒業	質屋営業	
78	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	菓子商	
79	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	多賀城小学校高等一年修了	官吏	病氣
80	昭和14年4月10日		昭和14年3月	榴岡小学校卒業	会社員	
81	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	榴岡小学校卒業	竹細工商	萱場製作所
82	昭和14年4月10日		昭和14年3月	六郷小学校高等一年修了	公吏	
83	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	会社員	
84	昭和13年4月8日	昭和19年3月8日	昭和13年3月	荒町小学校卒業	建築設計請負業	病氣
85	昭和14年4月10日	昭和19年3月8日	昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	教員	家庭 家事手傳
86	昭和14年4月10日		昭和14年3月	連坊小路小学校卒業	綿商	
87	昭和14年4月10日		昭和14年3月	片平丁小学校卒業	会社員	
88	昭和14年4月10日		昭和14年3月	上杉山通小学校卒業	教員	

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
89	昭和14年4月10日		昭和14年3月	東二番丁小学校卒業	無職 (祖父)	
90	昭和14年4月10日		昭和14年3月	東六番丁小学校卒業	貸家業	
91					無記載	第四学年次成績のみ記入有
92	昭和14年4月10日		昭和14年3月	東六番丁小学校卒業	官吏	

【学籍簿データ】S15 年次入学生

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
1	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	南材木町小学校卒業	学生 (兄)	
2	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	片平丁小学校卒業	洋服商	
3	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	荒町小学校卒業	貸家業 (祖父)	
4	昭和19年4月1日		昭和19年4月	調布高等女学校ヨリ第五学年転入学	会社員	
5	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	東二番丁小学校卒業	履物商	
6	昭和19年8月		昭和19年8月	東京都大森高等女学校ヨリ人員疎開の為、昭和19年8月本校ニ転入	無職 (母)	
7	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	南小泉小学校卒業	菓子業 (祖父)	
8	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	向山小学校卒業	地主	
9	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	片平丁小学校卒業	会社員	
10	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	塩釜小学校卒業	鉄道官吏	
11	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	連坊小路小学校卒業	菓子商	
12	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	船岡小学校卒業	土木請負業	
13	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	東二番丁小学校卒業	無職	
14	昭和17年4月6日	昭和20年3月29日	昭和17年4月	昭和女学校ヨリ第三学年ニ転入学	会社員 (叔父)	
15	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	原町小学校卒業	魚商	
16	昭和19年7月				会社員	
17	昭和19年10月		昭和19年10月	疎開ノタメ東京都瑞穂高等女学校ヨリ転入学	無職 (母)	
18	昭和18年4月7日	昭和20年3月29日	昭和18年4月		土木建築業 (叔父)	
19	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	山王小学校高等一年修了	農業	
20	昭和19年6月1日		昭和19年6月	疎開ノタメ東京都共立高等女学校ヨリ転入	会社員	
21	昭和19年9月		昭和19年9月	疎開ノタメ東京都目黒日出高等女学校ヨリ転入学	工業	

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
22	昭和18年4月19日	昭和20年3月29日	昭和18年3月	岩手県立一関高等女学校ヨリ転入 (父転任ノ為)	鉄道官吏	
23	昭和19年5月1日		昭和19年5月	東調布高等女学校ヨリ昭和19年5月転入学	官吏	
24	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	関上小学校高等一年修了	雑貨商	
25	昭和19年7月1日		昭和19年7月	東京都昭和高等女学校第五学年ヨリ本校ニ転入学	無職 (母)	
26	昭和16年5月1日	昭和20年3月29日	昭和16年5月	盛岡市立第一高女ヨリ第二学年ニ転入	会社員 (叔父)	
27	昭和19年4月		昭和19年4月	昭和高等女学校ヨリ転入学	官吏 (豊多麻刑務所)	
28	昭和18年4月18日	昭和20年3月29日	昭和18年9月	青森市立高等女学校ヨリ転入 (父転任ノ為)	郵便局員	
29	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	向山小学校卒業	官吏	
30	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	塩釜小学校卒業	牧師	
31	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	片平丁小学校卒業	新聞社社員	
32	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	連坊小路小学校卒業	鉄道員	
33	昭和19年8月		昭和19年8月	疎開ノタメ東京都精華高等女学校ヨリ転入学	銀行員	
34	昭和19年5月		昭和19年5月	共立高等女学校ヨリ第五学年ニ転入学	会社員	
35	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	東六番丁小学校卒業	画工	
36	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	吉岡小学校卒業	会社員	
37	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	片平丁小学校卒業	米穀商	
38	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	長町小学校卒業	古川商業学校教員	
39	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	立町小学校卒業	自転車商	
40	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	高砂小学校卒業	農業	
41	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	榴岡小学校卒業	無職 (祖父)	
42	昭和15年4月8日	昭和20年3月29日	昭和15年3月	片平丁小学校卒業	金物雑貨商	

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴	親の職業	卒業後の状況
43	昭和19年		疎開ニヨリ東京都共立高等学校ヨリ転入学	無記載	

【学籍簿データ】S16 年次入学生

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
1	昭和17年5月6日			広島山陽高等女学校ヨリ転入 (第二学年)	無職 (祖父)	附設課程
2	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		宮城郡利府尋常小学校	国民学校教員	一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員 一. 昭20.3.31家庭ノ都合ニヨ リ動員解除、目下家庭ニアリ
3	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		塩釜第三尋常小学校卒業	会社員	本校育児科
4	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		宮城県七郷小学校卒業	農業 (兄)	附設課程
5	昭和19年4月1日	昭和20年3月29日	昭和19年4月	富士見高等女学校ヨリ疎開ニヨリ転学	産業戦士	本校国文科
6	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	昭和18年7月	横須賀市立第二高等女学校第三学年在学	海軍工員 (祖父)	附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
7	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市東二番丁尋常小学校	ミシン商	
8	昭和18年5月13日	昭和20年3月29日	昭和18年5月迄	大阪女学院高等女学部第三学年在学	官吏	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
9	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市立町尋常小学校	荒物商	本校国文科
10	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		福島県双葉郡熊町尋常小学校	農業	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
11	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		福島県木戸小学校卒業	材木商	附設課程
12	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台五橋高等小学校修業	金物商	秋田県立女子医学専門学校ニ 合格
13	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市南小泉尋常小学校卒業	銀行員	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
14	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校卒業		会社員	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
15	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県附属小学校卒業		会社員 (祖父)	附設課程
16	昭和16年4月7日	昭和20年3月29日	青森	昭和18年11月	無記載	附設課程
17	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	荒町尋常小学校卒業		農 (公吏)	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
18	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市長町尋常小学校卒業		鉄機械製作業	附設課程
19	昭和16年4月8日		亘理荒浜尋常小学校		財団法人辛酉会事務長 (兄)	附設課程
20	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	福島県中村第二小学校卒業		旅館業	一、本校専攻科英語科進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
21	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県名取郡閑上尋常高等小学校卒業		金物商雜貨商	附設課程
22	昭和17年4月8日	昭和20年3月29日	横浜共立女学校第一学年修了転入学	昭和17年	会社員	宮城高女専攻科育児科ニ合格
23	昭和18年4月3日	昭和20年3月29日	私立京華高等女学校在学	昭和18年3月25日迄	会社員	附設課程
24	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校卒業		会社員	附設課程
25	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校		洋服業 (祖父)	附設課程
26	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市上杉山通尋常小学校		自動車工業	本校英文科
27	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	名取郡増田尋常小学校卒業		雜貨商	附設課程
28	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県岩沼小学校卒業		産婆 (母)	附設課程
29	昭和17年8月29日	昭和20年3月29日	昭和16年3月仙台市立町国民学校卒業、全年4月北鎌倉高等女学校ニ入学 昭和17年8月29日本校女学部二学年に編入ス		無記載 (母)	附設課程

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
30	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台原町尋常小学校卒業	土木請負業	附設課程
31	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		宮城県女子師範附属小学校卒業	酒類商	宮城高女外国語科
32	昭和17年10月15日	昭和20年3月29日	昭和17年	大阪府立黒山高等女学校第二学年より転入学	会社員	附設課程
33	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市片平丁尋常小学校卒業	仙台市役所書記	一. 本校専攻科音楽科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
34	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市片平丁小学校卒業	写真製版業	附設課程
35	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市荒町小学校卒業	食料品販売業	附設課程
36	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		師範学校附属小学校卒業	銀行員	本校国文科
37	昭和16年5月20日	昭和20年3月29日		名古屋御器所尋常小学校	会社員	一. 本校専攻科育児児科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
38	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市東六番丁尋常小学校卒業	官吏	一. 本校専攻科育児児科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
39	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市荒町尋常小学校卒業	古物商	附設課程
40	昭和16年4月30日	昭和20年3月29日		宮城県生出小学校卒業	国〔民〕学校教員	本人ノ身体状況ニ依リ動員セラレズ
41	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市北六番丁小学校卒業	銀行員	一. 本校専攻科育児児科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
42	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市東六番丁尋常小学校卒業	書ヤ	附設課程
43	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市片平丁小学校卒業	靴製造業	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
44	昭和17年4月6日	昭和20年3月29日		福島県立相馬高等女学校第一学年修了転入	官吏	附設課程

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
45	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市原町尋常小学校卒業		自作農	附設課程
46	昭和16年4月4日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁小学校卒業		日本画家	東北帝大ニ就職ス
47	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台上杉山通小学校卒業		洋服裁縫業	宮城高女音楽科
48	昭和16年4月	昭和20年3月29日	東京高等女子校ヨリ本校第四学年ニ転入ス	昭和19年4月	官吏/東北軍需監理部	一.本校専攻科育児科進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
49	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東六番丁尋常小学校卒業		官吏	附設課程
50	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市向山小学校卒業		無職	附設課程
51	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市向山尋常小学校		管鉄工業	附設課程
52	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市原町尋常小学校卒業		鉄道員	一.附設課程進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
53	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校卒業		教練教官	附設課程
54	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市南材木町小学校卒業		染物業	
55	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校卒業		仙台土木出張所 官吏	卒業後ノ状況不明、住所不明 ナリ
56	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市立町尋常小学校卒業		商業	宮城高女育児科
57	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県塩釜小学校卒業		印刷業	宮城高女外国語科
58	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	塩釜第三小学校卒業		漁業	家庭ノ事情ニヨリ解職
59	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市長町尋常小学校卒業		魚商	附設課程
60	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校卒業		官吏	一.通信官吏講習所技術科進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
61	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城郡塩釜尋常高等小学校卒業		農業	本科育児科

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴	親の職業	卒業後の状況
62	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東六番丁尋常小学校卒業	会社員	仙台鉄道局ニ就職ス
63	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校	新聞社社員	一.本校専攻科英語科進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
64	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	栗原郡岩ヶ崎尋常高等小学校卒業	鍛冶職	附設課程
65	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市榴ヶ岡尋常小学校	教員	附設課程
66	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東二番丁尋常小学校	塗材商	一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中 一.昭20.4.3家事ノ都合ニ依リ 動員解除、目下家庭ニアリ
67	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県名取郡玉浦小学校卒業	農業 (祖父)	附設課程
68	昭和17年4月8日	昭和20年3月29日	福島県立安積高等女学校第一学年修了転入学	会社員	市内朴澤高等師範科
69	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校卒業	印刷業	宮城高女外国語科
70	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台連坊小学校卒業	教員	本校育兒科
71	昭和18年4月5日	昭和20年3月29日	宮城県白石高等女学校第三学年より転入学 昭和18年	温泉宿業 (兄)	一.附設課程進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
72	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市長町小学校卒業	農業	附設課程
73	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市榴岡尋常小学校卒業	果物商	一.附設課程進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
74	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市原町尋常小学校卒業	官吏 (鉄道員)	一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中ナリシモ 一.昭20.2.26身体ノ状況ニ依 リ動員解除、目下放送局仙台 支局勤務中ナリ

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
75	(昭和19年5月30日)	昭和20年3月29日	昭和17年4月7日愛知県私立相山女子専門学校 附属高等女学校ヨリ、東京都成城高等女学校 第二学年ニ転入、昭和19年5月30日本校ニ転 入ス	昭和17年4月7日愛知県私立相山女子専門学校 附属高等女学校ヨリ、東京都成城高等女学校 第二学年ニ転入、昭和19年5月30日本校ニ転 入ス	通信官吏	一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中ナリシモ 一、昭20.4.5外地就職ノタメ解 除、連絡地本籍地
76	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	名取郡岩沼尋常高等小学校卒業	名取郡岩沼尋常高等小学校卒業	雑貨商	本校国語科
77	昭和19年10月20日	昭和20年3月29日	名古屋市田代区相山女子専門学校附属高等女 学校ニ在学中、昭和19年10月20日本校ニ転入ス	名古屋市田代区相山女子専門学校附属高等女 学校ニ在学中、昭和19年10月20日本校ニ転入ス	通信官吏	附設課程進学、昭19.11.3横須 賀第一海軍技術廠動員中
78	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東二番丁尋常小学校	仙台市東二番丁尋常小学校	鉄工業	附設課程
79	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平町尋常小学校卒業	仙台市片平町尋常小学校卒業	菓子製造業	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
80	昭和17年4月10日	昭和20年3月29日	北海高等女学校ヨリ転入 (第二学年)	北海高等女学校ヨリ転入 (第二学年)	鉄道医	宮城高女育児科
81	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	盛岡市立第一高女ヨリ二年ニ転入	盛岡市立第一高女ヨリ二年ニ転入	会社員	一、附設課程進学 一、身体状況ニ依リ動員サレ ズ、目下自宅静養中
82	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市連坊小路尋常小学校卒業	仙台市連坊小路尋常小学校卒業	官吏	本校英文科
83	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校卒業	仙台市荒町尋常小学校卒業	鉄道官吏	附設課程
84	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台連坊小学校卒業	仙台連坊小学校卒業	代書業	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
85	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁小学校卒業	仙台市片平丁小学校卒業	剣道具師	附設課程
86	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	荒浜尋常小学校	荒浜尋常小学校	雑貨商 (祖父)	本校育児科
87	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁小学校卒業	仙台市片平丁小学校卒業	製麺業	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
88	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県岩沼小学校卒業	宮城県岩沼小学校卒業	新聞社員	本校国語科

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴	親の職業	卒業後の状況
89	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	塩釜第二尋常小学校	会社員	保健婦学校
90	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東二番丁尋常小学校卒業	小児科医師	一、附設課程進学 一、身体虚弱ニ依リ動員サレズ、目下校内事務手傳シタリ
91	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台片平小学校卒業	会社員	宮城高女育児科
92	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県師範学校附属尋常高等小学校卒業	学生 (兄)	宮城高女国語科
93	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台荒町小学校卒業	銀行員	就職
94	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	塩釜第三小学校	製材業	東京実践専門学校歴史科
95	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	岩手県西磐井郡亥年尋常小学校卒業	開業医	宮城高女育児科
96	昭和19年	昭和20年3月29日	北海道北星高女在学 (父転勤ノ為)	銀行員	宮城高女外国語科
97	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市南材木町小学校	魚商	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠動員中
98	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	南材木町尋常小学校	中学校教諭	附設課程
99	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県立女子師範附属小学校卒業	中学校教諭	宮城高女外国語科
100	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	名取郡関上小学	魚商業	一、本校専攻科英語科進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠動員中、母死亡ニヨリ、約二ヶ月欠勤ス
101	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校卒業	官吏	附設課程
102	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市立町尋常小学校卒業	会社員	附設課程
103	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市向山小学校卒業	石材商	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠動員中
104	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	塩釜第三尋常小学校卒業	農業 (叔父)	附設課程

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
105	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台連坊小学校卒業		鉄道省官吏	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
106	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	福島県伊(達)尋常高等小学校卒業 等科第一学年終了	全校高	材木商	宮城高女育児科
107	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市上杉山通小学校卒業		官吏 (農林主事補)	一. 本校専攻科国語科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
108	昭和16年4月8日		仙台市原ノ町尋常小学校卒業		軍人	本校育児科
109	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	名取郡館腰尋常小学校		農業	附設課程
110	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市八軒小路高等小学校		教員 (兄)	就職
111	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台上杉山通小学校卒業		土木建築請負業	
112	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台片平丁尋常小学校卒業		教員	
113	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市上杉山通小学校卒業		字真業 (叔父)	一. 本校専攻科英語科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中ナリシモ、一. 昭20.11. 26身体状況ニ依リ動員解除
114	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市榴岡尋常小学校卒業		宮城県 砂糖・米穀・ 粉・塩商	附設課程
115	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台荒町小学校卒業		左官職	就職
116	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市五ツ橋高等小学校		日本原麻株式会社支店 長	病氣退職
117	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	木町通尋常小学校		新聞社員	一. 本校専攻科育児科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴	親の職業	卒業後の状況
118	昭和17年1月10日	昭和20年3月29日	昭和17年 頌栄高女ヨリ第一学年ニ転入	会社員	一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中ナリシモ、一. 昭19.11. 21身体虚弱ニ依リ動員解除休 学、目下東北配電ニ勤務中
119	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市五ツ橋高等小学校	綿蚊帳商	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
120	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	東京市荏原小学校卒業、福島第一小学校高等 科一年終了	無職 (兄)	一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中 一. 昭19.11.16身体ノ状況ニ依 リ動員解除、尔来休学、目下 福島郵便局ニ勤務中
121	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校第四学年入学、卒業	自動車製作工場長	一. 福島女子醫學専門學校進 学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
122	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	栗原郡岩ヶ崎尋常小学校	製綿業 (祖父)	一. 宮城県助教養成講習所 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中ナリシモ、一. 昭20.3. 31右ノタメ動員解除
123	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校卒業	酒商 (兄)	附設課程
124	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市立町尋常小学校	無職	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
125	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市立町小学校卒業	製鉛業	附設課程
126	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台南小泉小学校	官吏鉄道員	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
127	昭和19年6月	昭和20年3月29日	聖友女学校 疎開ニヨリ転学	酒造業	

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
128	昭和16年4月3日	昭和20年3月29日	昭和19年4月	東京都八幡初等国民学校卒業 東京調布高女 四年在学 帝都疎開移住ノ為	教授	
129	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市荒町尋常小学校	官吏	
130	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市榴ヶ岡尋常小学校	鉄道員	一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中 一.昭20.3.31家事ノ都合ニ依 リ動員解除、目下家庭ニ在リ
131	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		榴ヶ岡尋常小学校	無職	一.本校専攻科英語科進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
132	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		宮城県気仙沼小学校卒業	呉服商	附設課程
133	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		福島県伊達尋常高等小学校卒業	自動車業	附設課程
134	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		荒町尋常小学校卒業	大学職員	附設課程
135	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台南小泉小学校卒業	無職 (母)	家庭の事情により退廠、就職
136	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台立町尋常小学校	京染商 (兄)	附設課程
137	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市上杉山通尋常小学校卒業	技術指導者 (母)	
138	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市荒町尋常小学校卒業	ミシン商	一.本校専攻科国語科進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
139	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市南材木町小学校	紙類商	仙鉄局へ就職
140	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市原町尋常小学校卒業	農業	一.附設課程進学 一.昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
141	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市東六番丁尋常小学校	茶店	附設課程
142	昭和19年4月7日	昭和20年3月29日	昭和19年4月	東京山水高女在学	軍人	附設課程
143	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市片平丁尋常小学校卒業	無職 (母)	宮城高女育児科

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴	親の職業	卒業後の状況
144	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県女川小学校卒業	海産物業	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
145	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	気仙沼小学校卒業	米穀商	一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中 一、昭19.11.16身体状況ニ依リ 動員解除休学、目下食糧営団 勤務中
146	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校	無	
147	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁小学校卒業	官吏 書記	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
148	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校	官吏	附設課程
149	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	亘理郡山下村第一尋常小学校	農業	宮城高女育児科
150	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東二番丁尋常小学校卒業	古物商	病氣退廠、学校事務手傳
151	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市連坊尋常小学校卒業	医師	一、本校専攻科育児科進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
152	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市北六番丁尋常小学校卒業	無職 (母)	附設課程
153	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁小学校卒業	量製造業	鶴巣村国民学校助教ニ任命サ ル
154	昭和19年4月	昭和20年3月29日	ウイルミナ女学校高等女学部 疎開ニヨリ転 学	工廠員	助教
155	昭和18年4月5日	昭和20年3月29日	札幌北星女学校三年ヨリ転入学	官吏	附設課程
156	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	荒町尋常小学校卒業	文房具	一、本校専攻科育児科進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
157	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台 連坊小路尋常小学校卒業		官吏	
158	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東六番丁尋常小学校卒業		無職 元軍人（兄）	附設課程
159	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	宮城県師範学校附属尋常高等学校卒業		大学教授	本校育児科
160	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東六番丁尋常小学校卒業		無職（退職軍人）	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
161	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校卒業		ペイント塗装業	附設課程
162	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市連坊小路尋常小学校卒業		綿商	宮城高女育児科
163	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台荒町小学校卒業		仙台商業学校教員	本校育児科
164	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東二番丁尋常小学校卒業		化粧品小間物商	一. 本校専攻科育児科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
165	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	榴ヶ岡尋常小学校		履物商	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
166	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市東二番丁尋常小学校卒業		ペンキ塗装工事請負業	家庭ノ事情ニヨリ退職
167	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台東六番丁小学校卒業		製菓器業	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
168	昭和16年4月6日	昭和20年3月29日	昭和19年4月12日 東京都向島区第一寺島尋常高等小学校卒業、 国府台学院高女四年在学中ナリシ者、帝都疎 開移住ノ為		履物製造業	
169	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市荒町尋常小学校卒業		官吏	本校国文科
170	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市片平丁尋常小学校卒業		古物商	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
171	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台	長町尋常小学校	鉄道員 (祖父)	
172	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		荒町尋常小学校卒業	銀行員	宮城高女育児科
173	昭和19年1月20日	昭和20年3月29日		長野県立第二高等女学校第二学年ヨリ転入学	新聞社員	本校国文科
174	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市長町尋常小学校卒業	農産稲苗業 (祖父)	一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中 一. 昭19.11.17身体的虚弱ニ依 リ動員解除休学、目下糧秣廠 ニ勤務中
175	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		宮城県塩釜小学校卒業	会社員	一. 本校専攻科国語科進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
176	昭和16年4月4日	昭和20年3月29日		昭和19年4月7日 東京青山女学院四年在学、帝都疎開移住ノ為	会社員	
177	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市上杉山通小学校卒業	航空局技手	大谷村国民学校助教ニ任命サ ル
178	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市連坊小路尋常小学校卒業	鉄道官吏	附設課程
179	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市北六番丁尋常小学校卒業	日本産金振興会社職員	仙台簡易保険局ニ就職ス
180	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		仙台市榴ヶ岡尋常小学校	会社員	附設課程
181	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		宮城県栗原 尾松小学校卒業	農業	一. 本校専攻科国語科進学 一. 身体虚弱ニヨリ休学、動 員サレズ
182	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		本吉郡気仙沼尋常高等小学校卒業	医師	一. 附設課程進学 一. 昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
183	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日		榴ヶ岡尋常小学校	無職 (兄)	宮城高女育児科

番号	入学年月日	卒業年月日	入学前の学歴		親の職業	卒業後の状況
184	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	荒町小学校卒業		国〔民〕学校教員	一、附設課程進学 一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中
185	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	塩釜尋常高等小学校卒業		貸家業	附設課程
186	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台市原町尋常小学校卒業		大工	附設課定〔程〕
187	昭和16年4月8日	昭和20年3月29日	仙台原ノ町小学校卒業		味噌醤油醸造業	本校育児科
188	昭和18年4月5日		静岡男子師範附屬小学校尋常科卒業 立静岡高等女学校第二学年修了	静岡県	教員	昭和19年4月、家庭ノ事情ニ ヨリ転校
189	昭和17年4月8日	昭和20年3月29日	新潟県立糸魚川高等女学校ヨリ二年ニ転入		会社員	一、昭19.11.3第一海軍技術廠 動員中ナリシモ、身体虚弱ニ 依リ動員解除、尔来休学、目 下東北配電ニ勤務中



宮城学院女子大学構内に生息するサンショウウオの新種認定の経緯とこれまでの調査研究

藤原 愛弓

はじめに

私は2019年4月から2022年3月まで、宮城学院女子大学（以下、宮学）生活環境科学研究所のミツバチ科学研究部門の助教として勤務していました。私の実家は明治時代から続く日本最古の養蜂家系であり、私自身もこれまで、ミツバチの教育・研究・普及等に携わってきました。宮学在職当時は、家政館の屋上でセイヨウミツバチ・ニホンミツバチを飼育してミツバチを活用した教育研究を行いつつ、蜂蜜などの生産や販売等も行っていました。ミツバチ関連の仕事を中心に行いながら、宮学構内の自然環境の調査を行っていた際、サンショウウオの産卵地を発見しました。その後の共同研究により、このサンショウウオは新種であることが明らかになりました。本稿では新種認定に至った経緯と、私がこれまで東北地方における調査研究で発見したことの一部をお話しさせていただこうと思います。

1. 大学構内におけるサンショウウオの産卵地の発見

宮学の森は仙台市の住宅地の中に残された貴重な自然緑地の一部であり、様々な樹種から構成されています。子供の頃からミツバチをはじめとする生き物や自然が好きだった私は、宮学の教員時代、時間ができたときにはどんな場所にどのような生き物がいるかを考えながら、構内の森を歩いていました。2020年2月下旬、とある水場付近で、水中に何か白っぽいものがあるのを発見しました。そっと近づいて確認すると、サンショウウオのものと思われる卵囊でした（写真1）。文献で詳しく確認したところ、トウホクサンショウウオの卵囊で間違いなかったことが分かりました。トウホクサンショウウオは東北から新潟、関東北部にかけて生息する日本固有種の両生類です。本種は、山林等の開発による生息地の破壊などを要因とする個体数の減少が危惧されており、環境省と宮城県版のレッドデータブック（RDB）では準絶滅危惧（NT）に指定されています。

これまで宮学構内では、まれにトウホクサンショウウオの亜成体や成体の個体が見つかっており、宮城学院中学校高等学校の自然科学班では発見個体の飼育も行われていました¹。一方これまでに、宮学構内でサンショウウオが繁殖・産卵する場所が見つかったことはありませんでした。そこで私は、産み付けられた卵囊の数や、産卵地の環境と産卵場所の特徴の把握などの調査結果をまとめて、宮学の研究論文集で発表することにしました¹。

2. 新種認定と名前に込めた想い

産卵地発見についての論文¹の発表後、論文を見た高知大学のサンショウウオの研究者から、宮学に生息するサンショウウオが「新種かもしれない」という旨の連絡を受けました。その後複数の教育研究機関と共同で調査研究を行った結果、本種がトウホクサンショウウオとは独立した新種であることが明らかになりました²。具体的には、もともとトウホクサンショウウオとされていた種は、北東北を主産地とするトウホクサンショウウオ（学名：*Hynobius lichenatus*）、南東北を主産地とする新種センザンサンショウウオ（学名：*Hynobius senzanensis*）、磐越地方を主産地とするバンエツサンショウウオ（学名：*Hynobius unanngso*）、の3種に再分類されました²。形態的にはセンザンサンショウウオとバンエツサンショウウオが似通う一方、遺伝的には、センザンサンショウウオはバンエツサンショウウオよりもトウホクサンショウウオに近いという先行研究³を、より網羅的に分布域の各地のデータを用いて解析を行った本研究においても支持する結果となりました²。3種それぞれの分布の境界は、まだ明らかになっていない部分もあり、種ごとに独自の保全指針を決めて保全活動を行っていくためには、今後も調査・検討が必要です。

この新種センザンサンショウウオ（学名：*Hynobius senzanensis*）の名称は、共同研究者らの中で案を出し合い、最終的に私の出した和名と学名案を共著者全員による投票によって採用していただきました。初めて新種の名づけ親にならせていただいたことは、とても貴重な経験でした。センザンサンショウウオの名前は、本種の主要な生息地が含まれる仙台市と山形市を合わせた名称である「仙山」に由来します。いくつかの候補名を考えましたが、最終的にこの名を提案したのは、生息地域に由来する名前をつけることで、本種が生息する地域の人々に、センザンサンショウウオ（写真2）を保全していくことの重要性を認識してもらえればという願いがあったためです。



写真1. センザンサンショウウオの卵囊



写真2. センザンサンショウウオの成体。
大分大学理工学部の永野昌博准教授撮影

3. センザンサンショウウオの生息地を守るために

本種は普段は水中ではなく、森の林床に生息しています。繁殖期の時だけ水辺に集まり、水中で交尾し産卵します。その後、卵囊から孵化した幼生には鰓があり、しばらく水中で過ごしますが、その後鰓がなくなり上陸し、森の中で暮らしはじめます。そのため、卵・幼生時代を過ごすのに適した水辺と、上陸後に身を隠せて餌が豊富で湿潤な森林の両方が必要であれば生きていけません。宮学のキャンパスは、宮城県により指定された丸田沢緑地環境保全地域の一部に含まれています¹。本地域にはアカマツの自然林やコナラ等から成る二次林が存在し、農業用に用いられた丸田沢堤（ため池）に隣接しており、市街地に囲まれ残存した池沼を含む自然緑地・公園として貴重な存在です¹。宮学で発見されたセンザンサンショウウオの産卵地の水辺とその周囲の森林は、季節を通じて本種の生息地として重要な機能を果たしていると考えられます¹。

また、宮学のセンザンサンショウウオの産卵地は、ホロタイプ（新種を発表する際に一つだけ指定される標本）が採集された場所であるため、本種の保全の場として特に重要であると考えられます。また、宮学に隣接する水の森公園においても、2021年から宮城学院中学校高等学校自然科学班によるトウホクサンショウウオの調査や保全活動が行われていますが、この種もセンザンサンショウウオであると考えられます。宮学と水の森公園の周囲は、道路や住宅地によって四方を囲まれており、新種サンショウウオの生息地間の移動は難しいと考えられます。そのため、宮学や水の森公園に生息するセンザンサンショウウオは、他地域と遺伝的な交流の無い、孤立した個体群である可能性が高いと考えられます。本地域のセンザンサンショウウオの個体群が衰退・消滅すれば、都市域における本種の希少な生息地が失われてしまうことになります。そのため宮学として、本種の産卵地の周囲の樹木を伐採しないなど生息地の保全を行っていく必要があります。また、本種の生息を脅かさない形で本地域における調査研究を継続し、得られたデータを保全活動に活用していく必要があると考えられます。

4. これまでの調査研究と出会い、気づき、ひらめきからの発見

最後に、私がこれまでの調査研究の中で発見したことについて、宮学と東北地方で行ってきた研究の一部をご紹介します。本稿で書かせていただいた、サンショウウオの産卵地の発見と新種認定は、宮学の森を歩いた中での「出会い」がきっかけとなりました。トウホクサンショウウオは、良好な林や森林の環境を指標する種とされています。産卵地の発見後、本種が生息できる森ならば、これまで報告されていない生物たちが構内に生息しているのでは？と考え、ミツバチの仕事を中心に行う傍ら構内の生物調査を行いました。その結果、環境省版のRDBで絶滅危惧Ⅱ類として記載されているスナヤツメ類⁴、宮城県版のRDBに情報不足の種として記載されているタカチホヘビ⁵などを含む、様々な生物が構内に生息していることが明らかになりました^{4,5,6,7}。まだ発表できていない調

査結果もありますが、宮学のキャンパスは仙台都市域における、野生生物に残された貴重な生息地であることが研究から示されつつあります。

また、1種の生物（ミツバチ）に関する研究を長年継続する中での「気づき」や「ひらめき」がきっかけで新たな発見に繋がったケースもありました。私は2011年から宮城県の隣県、岩手県の里山地域（久保川イーハトーブ自然再生事業地内）において研究用にお借りしたログハウスでニホンミツバチとともに暮らし

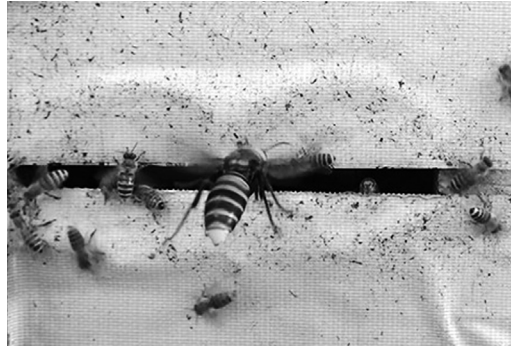


写真3. 秋季にニホンミツバチの巣箱に襲来したオオスズメバチと襲撃に慌てるニホンミツバチの働き蜂。黒い点状のものが働き蜂により塗り付けられた物質

ながら、季節を通じて様々な調査研究を行ってきました^{8,9}。すると天敵のオオスズメバチが襲来する秋（写真3）に、ニホンミツバチの働き蜂が植物の葉や芽などのかじって持ち帰り、巣箱の出入り口周辺に塗りつけていることに気が付きました。以前から、本種の働き蜂が秋に巣箱の出入口周囲に黒色や茶色の“汚物様”の物質を多数塗り付けることは知られていました。しかしその正体や、塗りつける目的については明らかになっていませんでした。辛抱強く働き蜂の行動観察を続ける中で、もしかすると植物の採集と塗り付けは、天敵であるオオスズメバチから巣を守るための行動では？とひらめきました。また、同時期に、巣箱の出入口周囲でダンスを踊る働き蜂も複数個体確認され、これもオオスズメバチの襲来に関連した行動ではないかと考えました。通常、花蜜や花粉等を集めるためのミツバチのダンスは巣箱内部で行われ、出入口周囲（巣箱の外側）で繰り返し行われることはないため、これはとても興味深い行動でした。しかし、秋には他の種類のスズメバチも巣を襲撃するため、観察だけではどのスズメバチ種に対してこれらの行動が行われているのか分かりませんでした。そこで、各種スズメバチの模擬的な襲撃実験により検証を行いました^{8,9}。

その結果、オオスズメバチの襲撃に対してのみ、ニホンミツバチの働き蜂のこれらの行動が引き起こされることが明らかになりました^{8,9}。また、この緊急的なダンスは天敵オオスズメバチの襲来に際し、大急ぎで巣箱の近傍から塗り付ける物質を採集するために、巣の仲間への情報伝達に用いられていると考えられました⁹。2011年以降、本研究テーマに関して、働き蜂の行動調査、塗り付けられる物質の採集・観察とDNAメタバーコーディング解析などの手法を用い、複数の地域で継続的に研究を実施しました。その結果、働き蜂が植物だけでなく、昆虫類、菌類、哺乳類、鳥類、魚類、藻類、苔類などを含む、地域の多様な生物や生物から採集した物質を巣箱に塗り付けていることを初めて発見し、それらの研究成果を公開しました^{10,11}。巣箱に塗り付けられた物質が人の目から“汚物様”に

見えていたのは、植物以外にも多様な生物由来の物質が含まれていたためでした。働き蜂が採集してくる生物由来の物質には、オオスズメバチが忌避する成分、もしくはオオスズメバチの餌場マーキングフェロモンの効果を被覆する、または減じる成分が含まれる可能性が考えられます^{10,11}。このニホンミツバチの不思議でユニークな生態の研究は継続中です。

このように、ミツバチや自然と向き合う中で出会った、気づきやひらめきの“種（タネ）”を大切に育んでいき、それが枝葉を伸ばして花を咲かせ、実を結び、新しい発見に繋がったときの感動はひとしおです。皆さんもぜひ、身近な自然に目を向けてみていただければと思います。

※本稿の一部は、センザンサンショウウオに関する宮城学院女子大学・一般教育部のプレスリリースにおける発表内容、公益財団法人藤原ナチュラヒストリー振興財団の研究成果報告書、JST の運営するプレプリントサーバー、Jxiv に公開されたプレプリントを基にしています。

引用文献

1. 藤原愛弓「宮城学院女子大学構内における準絶滅危惧種トウホクサンショウウオの産卵地の発見と個体数の推定」『宮城学院研究論文集』130号、2020年、47頁-57頁
2. Sugawara H, Fujiwara A, Azuma A, Sugawara R, Kuraishi M, Nagano M (2023) Taxonomic reinvestigation of *Hynobius lichenatus*: Description of a new species and resurrection of a previously described species from Eastern Japan. American Journal of Zoology 6(2): 26-45.
3. Aoki G, Matsui M, Nishikawa K (2013) Mitochondrial cytochrome b phylogeny and historical biogeography of the tohoku salamander, *Hynobius lichenatus* (Amphibia, Caudata). Zoological Science 30(3): 167-173.
4. 藤原愛弓「宮城学院女子大学構内における絶滅危惧種スナヤツメ類の発見と生息環境の把握」『生活環境科学研究所研究報告』第53巻、2021年、33頁-37頁
5. 藤原愛弓「宮城学院女子大学構内の爬虫類相」『生活環境科学研究所研究報告』第53巻、2021年、25頁-32頁
6. 藤原愛弓、飯澤由貴、土手内千春、田中一裕「宮城学院女子大学構内の爬虫類相」『生活環境科学研究所研究報告』第53巻、2021年、9頁-24頁
7. 藤原愛弓「宮城学院女子大学における開花植物の季節的推移：大学構内におけるミツバチの蜜・花粉源植物の調査」『生活環境科学研究所研究報告』第52巻、2020年、19頁-24頁
8. Fujiwara A, Sasaki M & Washitani I (2016) A scientific note on hive entrance smearing in Japanese *Apis cerana* induced by pre-mass attack scouting by the Asian giant hornet *Vespa*

mandarinia. Apidologie 47: 789-791.

9. Fujiwara A, Sasaki M & Washitani I (2017) First report on the emergency dance of *Apis cerana japonica*, which induces odorous plant material collection in response to *Vespa mandarinia japonica* scouting. Entomological science 21: 93-96.
10. 藤原愛弓 (2023) 「ニホンミツバチがオオスズメバチの襲撃後に巣の周囲に塗り付ける物質に関する研究：植物等を用いたミツバチの防衛行動の解明に向けて」『第 29 回 (2020 年度) 学術研究助成 研究成果報告書』
11. 藤原愛弓、藤原由美子 (2024) 「天敵オオスズメバチの攻撃に対してのみ行うニホンミツバチの巣の出入口周囲における塗り付け行動：緊急時に塗り付け物質として利用する多様な生物の新発見」『Jxiv』

(ふじわら あゆみ／一般社団法人日本在来種みつばちの会理事)



宮城学院の植物たち その5——ヒメジョオン——

松本 周
木村 春美

「宮城学院の植物たち」のシリーズ第5回はヒメジョオンを取り上げます。遊歩道で見かける野草と、その野草を取り上げている星野富弘さんの詩画について思うままに書き連ねる文章の二作目となります。今回は大学人文館5階で研究室が隣同士の木村と松本の共著でお届けします。

1. ヒメジョオンにまつわるあれこれ（木村）

遊歩道散策を始めて10年以上になります。歩いている途中ではっと息を飲み足を止めるのは、今まで出会ったことのない野草や山野草を目にした時です。そして心躍らせ「こんなところにもいてくれたのね。」と嬉しくなり、感謝の気持ちさえ湧いてきます。ところが、今回ご紹介するヒメジョオンを目にした時には、身体と心が固まりました。外来植物の雑草。「こんなところにまで（侵入／侵略してきているなんて）。」とってしまったからです。気持ちが真逆の「こんなところ」でした。ちなみに、私たちは日常的に外来生物・帰化植物などを雑に使っていますが、環境省などは移入種や侵入生物という用語を使用しているようです。

国立環境研究所の侵入生物データベース（<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80630.html>）によると、ヒメジョオンは江戸時代末期（1865年ごろ）に観賞用として導入されたとあります。『面白すぎて時間を忘れる雑草のふしぎ』（稲垣栄洋，三笠書房，2023）には、当時広がった鉄道網の線路に沿って急速に各地に広がったと記されています。83ページの写真をご覧になれば、「ああ、あれね。」と思われるでしょう。あちこちで目にしていらっしゃるはずです。ひょっとしたらご自宅のお庭に。あるいは通勤途中の道路脇にも。道端のコンクリートの割れ目から茎を伸ばす、いわゆる「ど根性」ヒメジョオンも稀ではありません。どんな土壌環境にも適応できる、つまり高い繁殖力を持つ、北アメリカ原産でキク科の虫媒花です。

実は、通勤途中にある水田が今年から作付けを止め、雑草が蔓延る耕作放棄地となってしまうしました。春から夏にかけてはヒメジョオンをはじめとする雑草が力強く高く生い茂りました。毎年、田おこし、田植えに始まり、秋には黄金の稲が美しく実っていたところに、こんなにも多くの雑草の種が眠っていたなんて信じられない思いです。前述の『面白すぎて時間を忘れる雑草のふしぎ』には、「どんな雑草もボーッと生えてるわけじゃない」

という章があり、雑草は予測不能な変化に適応する強さを持つ種類であるとしています。特に田畑は耕されたり、踏まれたり、さらには草取りが頻繁に行われるなど雑草にとっては超が付くほど過酷な環境であって、田畑に生えてくる雑草は「選り抜かれたエリート」(p. 18) なのだと書かれていました。そのエリートは日本生態学会が指定する日本の侵略的外来種ワースト 100 に入り、外来生物法で在来種を駆逐しその生存を脅かしかねない要注意外来生物に指定されていることが、国立環境研究所の侵入植物データベース末尾に記されています。

絵本『ざっそうの名前』(長尾玲子, 福音館書店, 2013) の中で、主人公の太郎くんがおじいちゃんからざっそうに名前があることを教えてもらうきっかけとなるのがヒメジョオンです。おじいちゃんへのおみやげに持参したスイカを庭のバケツで冷やしておこうと近づいた水道脇で、ふと白い花に気づいた太郎くんは「きれい! おじいちゃんがうえたの?」と尋ねます。

「ちがうちがう、じぶんで生えてきたざっそうだよ」

「えっ、ざっそうにも名前があるの?」

太郎くんだけでなく、確かに雑草は雑草で十把一絡げにしてしまいがちです。そこで太郎くんはおじいちゃんと庭をあちこち歩き回り、ざっそうの名前をひとつひとつ教えてもらいながら、様々なざっそうたちを五感で感じていくストーリー展開となっています。ドクダミやヘクソカズラの匂いを嗅ぎ、ヤブガラシを生垣からぷちぷち引き剥がして退治したりもします。でも、ひととおりの庭を回った太郎くんは「みんなかわいいねえ」と言うのです。私はといえば、遊歩道でヒメジョオンを見つけた時、外来植物の雑草と認識した途端にレッテルを貼り、悪者・悪玉・よそ者扱いで、偏見に魂を奪われた差別主義者となり下がり、かわいいなんてとても思えなかったのですが。江戸時代に観賞用に持ち込まれたとすると、偏見のない時代にはかわいいという感覚が普通だったということなのでしょう。

単に付け足しですが、この絵本ではそれぞれの植物や登場人物が刺繍で描かれています。植物の特徴がよく捉えられていて、この絵本の隠れた魅力です。植物図鑑は写真を使ったものが主流となっているようです。ところが写真は被写体が個別の個体ですから、総体として特徴を表現しにくく、そのため見分ける目的となると必ずしも便利だとは言えません。その点、例えば『のはらずかん』(岩崎書店, 1992) などの著作がある長谷川哲雄の絵本や書籍は、アートと理科資料の絶妙なバランスを感じます。この『ざっそうの名前』も、おじいちゃんと孫の心温まるストーリーとして楽しめるだけでなく、図鑑としての使い勝手も抜群の作品です。

そもそも雑草とは何かなんて普段は考えてみることもないのですが、その正式な定義は生物学的なものから社会的なものまで学問分野によって様々なようです。例えば、日本

雑草学会は農学の専門分野として雑草学を確立すると
して、学会の Web を見ると「雑草は、農耕地、
芝生地、生活環境など、あらゆる場所に発生し、その
制御がしばしば問題となります。他方、雑草は、劣悪
環境の修復など、環境保全にも役立ちうる可能性を
持っています。」とありました。確かに、あらゆる場
所で育ち、制御できないイメージです。素人としては、
雑草は人に望まれない野草の総称であり、個人が自分
の価値観によって雑草かどうかを判断しているように
感じられます。まさか、環境保全の一助となる可能性
があるなどとは知らず、雑草力を見くびっていた自分
を反省しました。



2021年6月20日撮影

東京農業大学の Web (<https://www.nodai.ac.jp/research/teacher-column/0134/>) に、インドネシア共和国・バリ島の農村では雑草を「よい草」と「わるい草」と区別し、「よい草」を畑に残しておく習慣があることが書かれていました。「よい草」の中には葉に生えている毛が夜露を保つため、特に乾季には植物の生育を助けてくれるものが含まれています。また、生えてもすぐに腐るものは漉き込めば肥料になります。さらに、繁殖力が強すぎて「わるい草」と分類されるものであっても、農地以外のところに生えていれば家畜の餌となるため、除草せず残して利用するのだそうです。

雑草か否かは文化によっても異なり、例えばたんぽぽは日本人には春を感じさせる野草と映りますが、英語圏では庭に蔓延る厄介な雑草だと捉えられているようです。在来種の日本たんぽぽと外来種の西洋たんぽぽを見分けることのできる人の中には、在来種は貴重な野草、外来種はやっかいな雑草とする人もいるでしょう。とすると、分類（区別）にまつわる価値判断には文化の差と個人差の両方が複雑に関わっているということになります。さてここで全くの余談ですが、『たんぽぽ』と題する絵本は私が知っているだけで3冊出版されています。金の星社からは2冊出ていて、そのうち1冊はかつて私が子どもたちと楽しんだ甲斐信恵によるもの（1984）で、もう1冊は新井真紀によるもの（2015）です。後者は絵本原画の国際コンクール「ブラティスラヴァ世界絵本原画展（2017）」で【金のりんご賞】を受賞しています。福音館書店からは、かがくの友絵本シリーズ（傑作集）の1冊として出ている平山和子の作品（1976）があります。どれも、植物学的観察に基づいた理科教育の色合いが濃い作品ですが、たんぽぽを愛する気持ちが滲み出る絵本たちです。たんぽぽの生態を取り上げた海外の絵本にこれら3冊に類するものはあるのでしょうか。探してみたいですね。

本題に戻り、元長野県教員で植物学を専門とする自然愛好家の高見沢茂富は『帰化植物——植物文化を築いてきた外来植物たち』（ほおずき書籍、2010）の中で「緑化用などさ

まざまな用途で導入した帰化種が今日、在来種の生存を脅かしている」(p. 203) ことを指摘する一方で、「駆除される帰化植物への優しい“労り”の心を持って」(p. 15)と戒めています。自分たちの都合で移入して意図的に植え広げておきながら、在来種の生態などに影響を及ぼすほどに繁殖し始めたことが分かったら、今度は態度を翻して駆除に苦慮し奔走する。著者は特定外来生物に指定された植物たちのいわば生い立ちを解説する中で、人間のご都合主義、浅はかさを厳しく指摘しています。

「雑草という草はない」と言ったのは、植物分類学者の牧野富太郎だとされています。数多くの著作のどこかで書いているのだとずっと思っていたのですが、調べてみると、木村久邇典著『周五郎に生き方を学ぶ』(実業乃日本社, 1995)の中に、以下のような箇所がありました。著者は朝日新聞の記者時代に山本周五郎の担当となり、のちに山本周五郎の研究者となって著作も多く発表しています。

牧野博士と対談中に、山本青年は「雑草」という言葉を口走ったらしい。博士はなじるような口調で山本に言った。

「きみ、世の中に“雑草”という草はない。どんな草にだって、ちゃんと名前がついている。私は“雑木林”という言葉がキライだ。松、杉、檜、楓、櫟——みんなそれぞれ固有名詞がついている。それを世な多くの人々が“雑草”だの“雑木林”だのと無神経な呼び方をする。もしきみが、雑兵と呼ばれたら、いい気がするか。人間にはそれぞれ固有の姓名がちゃんとあるはず。ひとを呼ぶばあいには、正しくフルネームでキチンと呼んであげるのが礼儀じゃないかね。」

(pp. 223-224)

様々な個性ある植物を雑草としてそれで終わりにせず、正しくフルネームでキチンと呼ぶことは、その植物を唯一無二として尊重し大切にすることの第一歩。なるほどと頷くばかりですが、学生の名前を覚え、顔と名前を一致させるのが年々難しくなっている昨今、かなり耳の痛い発言です。マスクでよく分からないとか、名前が読みにくすぎる、とかは言い訳ですね。

牧野富太郎自身の著作の中では、入江弥太郎との合著『雑草の研究と其利用』(白水社, 1919)の序文の中に次のような箇所を見つけました。本書は雑草と呼ばれ軽視されている植物の由来と形態を挿絵入りで記述し解説した上で、食用にする場合の調理方法と薬用効果を記しています。

世人は徒に之を雑草と呼んで軽んじ敢て顧みないけれども、此れにも利用して人間の用となすべきものが頗る多いのみならず、成るべく未用のものをも更に研究して吾人の資に供することを心掛けねばならぬ。(新仮名遣い表記による)(序)

世の中が第一次世界大戦の軍需景気に沸き成金と呼ばれる人々が現れた時代に、庶民が物価高で生活に苦しむ結果となったことは社会科の授業で学びましたが、その庶民の暮らしを支える一助として雑草の活用を研究し、積極的な利用を促していた科学者がいたことを今回初めて知りました。

少し話を戻して、唯一無二といえませんが、ヒメジョオンはしばしばハルジオンとの違いが取り上げられます。ヒメジョオンは綿毛で種子を飛ばし、その年の秋にその種が芽生えて葉を地面近くに広げ、翌年初夏になると花を咲かせます。発芽してから越冬し、翌年に開花結実する特性から、図鑑には「冬型一年草」、または、冬を二度越してから開花する二年草と合わせて「越年草」とされています。一方、ハルジオンは4月から6月を開花時期とする多年草で、同じく外来植物ですが、日本にやってきたのは大正時代。花を咲かせて種を作りますが、地下茎が発達していて、枯れてしまうのではなく地下で自身も徐々に株を大きくしていきます。タネによる繁殖スピードはヒメジョオンよりゆっくりですが、地下で養分を作り続けているので、より頑強で繁殖力があります。このように、一見よく似たヒメジョオンとハルジオンですが、植物学的に見れば、両者の成長戦略に大きな違いがあることに驚きます。

図鑑には二つの種の細かな見分け方が書かれていますが、私は友人で森歩きの仲間であり、仲間うちでは植物博士として名高い菅原賀代子さん（仙台市泉区在住）に教えてもらった3つのポイントを押さえるのが簡単明瞭だと思っています。ヒメジョオンは①蕾が上を向いている ②葉が茎を抱いていない ③茎は空洞でなく固い。言い換えれば開花した花で見分けるのは難しいということになります。いちいち茎を割いてみるわけにはいかないので、まずは最初の二つが手がかかります。開花はヒメジョオンの方が遅く6月から10月ですから、6月頃には両方が一緒に咲いていて、違いを観察するのに適した時期ということになります。

ヒメジョオンとハルジオンといえば、ユーミンの楽曲『ハルジオン・ヒメジョオン』を外すことはできません。ハルジオンをハルジオンとして韻を踏ませています、歌詞の中にはヒメジョオンしか出てきません。「私だけが変わり みんなそのまま」の歌詞は、より広く知られている『卒業写真』のテーマと重なる印象もあり、心に染み入る曲です。

冒頭に「こんなところに」とヒメジョオンの存在に気づいたと書きましたが、『天にみ栄え 宮城学院の百年』（宮城学院，1987）に移転当時に調査した植生がリスト化されています。そこに記載されている354種類の植物のキク科のところに、ヒメジョオンとハルジオンも並んでいました。最近持ち込まれたのではなく、40年以上前にすでに水の森の住人であったようです。新参者は私の方でした。恐れ入りました。

2. ヒメジョオンと星野富弘さん（松本）

私たちの周囲で豊富に存在しているにも関わらず、もしかしたら身近すぎて名前さえ意

識しないような草花、それらに温かいまなざしを向け続けたのが星野富弘さんの一つひとつの作品でした。星野さんは昨 2024 年 4 月 28 日に逝去されました。けれども作品に吹き込まれたことばの息吹は、今も生き生きと私たちに語りかけています。

本稿で取り上げているヒメジョオンを描いた絵と共に、星野さんは次のような詩を記しました。

苦しくてどうしようもない時
いつもうかんでくることばがあった
神様がいるんだもの なんとかなるさ
そしていつもなんとかなった
(星野富弘『あの時から空がかわった』
いのちのことば社フォレストブックス、
2016 年、71 頁)



ここには、神への揺るぎない信頼が示されています。科学的・合理的思想が支配的な現代世界では、あまりなじみのない思考法です。現代はあらゆる事象を合理的にすなわち原因—結果の因果律で理解しようとします。その思考の枠組みが人生理解にまで及ぶと、私たちが直面する「苦しくてどうしようもない」事象も、そのような結果を招来する何らかの原因が自分自身にあったのだと捉えなければならなくなります。そうした思考の行き着く先は「自己責任論」ということになってしまいます。自らの生き方や状況が思い通りにならず悩み苦しむとき、自己責任論は私たちを追い詰めます。どんな苦しみや災厄もすべては自業自得であって、すべての責任は自分自身で引き受けなければならないという結論になるからです。

これに対して星野さんの詩は、自己責任論とは異質であり対極にある思考を表現します。「神様がいるんだもの なんとかなるさ」というのは、「究極の他力本願」とさえ言えるような思想です。けれどもそれは、開き直り或いは自分の力で生きることの放棄を意味している訳ではありません。ちっぽけな自分の力では抗いようのない不条理、破壊的・否定的な虚無の力に対して、それらを凌駕する大いなる肯定が存在する。そのことを星野さんは「神様がいるんだもの」と表現しました。

星野さんの人生を支えたキリスト教信仰は、神による大いなる肯定を語ります。『聖書』には次のような物語が記されています。

さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれ

が罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」

(ヨハネによる福音書 9 章 1～3 節、新共同訳)

この聖書記述からは、現代に限らずどの時代にも、自己責任論がはびこっていた様子が窺えます。目の不自由な人を前にして、それは本人もしくは親が罪を犯した結果ではないかと言いつつ人々の存在が記されています。その思考法を否定してイエス・キリストは「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである」と述べました。ここに、神による大いなる肯定の思想が現れ出ています。およそ艱難や不条理をまったく経験しない人生などあり得ません。それを罪や悪の帰結として捉えるのではなく、そうした否定的なあらゆるものを超越して肯定する「神の業」が現れるとの思想が表明されています。

存在すべてが神による大いなる肯定の中にあるという考え方は、聖書全体を貫いている思想です。聖書の最初にある「創世記」には、神が七日間で全宇宙を創造したとの物語が記されています。そこでは創造された一つ一つの存在を神が「良しとされた」との記述が繰り返されます(創世記 1 章 4, 10, 12, 18, 21, 25 節、31 節では「極めて良かった」)。この聖書冒頭の記述が時代を超えた「永遠の神話」として示していることは、この世界に存在する一つ一つは失敗作や欠落品ではなく(古代の神話や哲学にはそうした見解を示すものもあります)、神の創造した一つ一つが最高傑作としてかけがえのない存在であることを意味します。

私たちの生の根底に、神による存在への肯定がある。だから「苦しくてどうしようもない時」でも絶望せずに、生きることへ向かうことができる。この思想を 20 世紀に改めて強調したのは、パウル・ティリッヒという人物でした。ドイツで大学教授として神学・宗教哲学を講じていた彼は、ヒットラー政権の迫害を逃れてアメリカに亡命しました。そして『生きる勇気』を著しました。ティリッヒ思想の基盤である「存在論」から展開されるこの著作の最終段落において、彼は次のように述べます。

無意味性の不安を自己自身へとひき受ける勇気は、生きる勇気が至りうるところの極限である。……この勇気において、すべての形態の勇気が、〈神を越える神〉の力から再生してくる。生きる勇気とは、神が懐疑の不安の中で消滅してしまったときにこそあらわれ出る神に基礎づけられているのである。

(パウル・ティリッヒ『生きる勇気』大木英夫訳、平凡社、1995 年、287 頁)

ティリッヒが言う「神を越える神」とは、イエス・キリストが十字架刑という神に見捨

てられた絶望の只中で、しかしながら絶望に屈して虚無へ陥らずに、父なる神を信頼し、神へ向かって叫んだという出来事に基づいています。ティリッヒはここに、世界を絶望と無意味性から救い出す「生きる勇氣」の根源的出来事を見ました。この「生きる勇氣」の思想が、星野さんの詩における「神様がいるんだもの　なんとかなるさ」という言葉と重なり合っています。

最後に、星野さんの諸作品の意義を日本キリスト教史との関わりで捉えるとき、そこに「自然へのまなざし」の溢れていることが注目されます。近現代日本のキリスト教文学において、中心的主題は「人間」あるいは「神と人」でした。三浦綾子『氷点』や『塩狩峠』、遠藤周作『沈黙』『深い河』、島尾敏夫『死の棘』と列举しますと、明らかにそうした傾向が看取されます。彼女・彼らの作品では自然や植物が描写されることがあったとしても、それは人間の背景に位置づけられた存在にすぎませんでした。それらに対して星野さんの作品は、草花の存在にこそ焦点が当てられています。そして野に咲く草花の姿から、私たち人間の生きる姿が顧みられています。そこに新しい可能性が開かれていると感じます。

現代キリスト教思想では20世紀後半になって、聖霊論や三位一体論へ注目することから宇宙や自然全体へ視野を向ける新しい流れが生じ、地球環境問題への関心と相まってエコロジーの神学などの機運が高まってきました。星野さんの作品がそうした思想と共鳴し、また継承されていくことを願っています。

本文中に掲載した星野富弘さんの詩画は富弘美術館よりご提供いただきました。感謝申し上げます。

(まつもと しゅう／宮城学院女子大学一般教育部准教授)

(きむら はるみ／宮城学院女子大学一般教育部教授)



□彙報
2024（令和6）年度彙報

宮城学院資料室

資料の蒐集・受贈関係（2024年3月1日～2025年2月28日）

以下の資料受贈について感謝をもって報告いたします。（冒頭の4桁数字は受贈・受領月日）

（1）定期刊行物関係

受領月日	刊行物名	発行元
0304	青淵 第900号 3月号	渋沢栄一記念財団
0307	國學院大學研究開発推進機構 機構ニュース	國學院大学
0310	校史 Vol.34	國學院大學研究開発推進機構 國學院大學
0320	第9回発表会 報告集	近代仙台研究会
0403	キリスト教史学会報 第187号	キリスト教史学会
0403	東北学院時報 第780号	学校法人東北学院
0403	東京大学 文書館ニュース vol.72	東京大学文書館
0407	原阿佐緒記念館だより 第55号	原阿佐緒記念館
0408	青淵 第901号 4月号	渋沢栄一記念財団
0403	白金通信 No.518	明治学院大学
0510	青淵 第902号 5月号	渋沢栄一記念財団
0408	東北大学史料館だより No.40	東北大学学術資源研究公開セン ター史料館
0625	東北学院時報 第781号	東北学院
0605	青淵 第903号 6月号	渋沢栄一記念財団
0703	白金通信 No.519	明治学院
0703	青淵 第904号 7月号	渋沢栄一記念財団
0716	福岡女学院 資料室ジャーナル vol.5	福岡女学院資料室
0716	國學院大學研究開発推進機構 機構ニュース	國學院大学
0809	キリスト教史学会報 第188号	キリスト教史学会
0809	青淵 第905号 8月号	渋沢栄一記念財団
0816	東北学院時報 第782号	東北学院

0906	青淵 第906号 9月号	渋沢栄一記念財団
0930	東京大学文書館ニュース Vol.73	東京大学文書館
1007	白金通信 No.520	明治学院
1007	東北大学史料館だより No.41	東北大学学術資源研究公開センター史料館
1015	青淵 第907号 10月号	渋沢栄一記念財団
1016	東北学院時報 第783号	東北学院
1105	青淵 第908号 11月号	渋沢栄一記念財団
1111	第10回発表会 報告集	近代仙台研究会
1206	東北学院時報 第784号	東北学院
1206	白金通信 No.521	明治学院
1206	青淵 第909号 12月号	渋沢栄一記念財団
0106	キリスト教史学会報 第189号	キリスト教史学会
0106	青淵 第910号 1月号	渋沢栄一記念財団
0207	青淵 第911号 2月号	渋沢栄一記念財団
0207	東北学院時報 第785号	東北学院

(2) 書籍関係 (紀要・年報・目録・図録を含む)

受領月日	刊行物名	発行元
0307	GCAS Report Vol.13	学習院大学大学院人文科学研究科 アーカイブズ学専攻
0320	英語英文学研究所 第48号	東北学院大学英語英文学研究所
0325	西南学院アーカイヴズ Vol.2	西南学院史資料センター
0325	ウィリアム・マックスフィールド・ギャロット伝	西南学院
0325	東北学院史資料センター年報 Vol.9	東北学院史資料センター年報編集委員会
0325	渋沢研究 第36号	渋沢史料館
0325	早稲田大学史紀要 第55巻	早稲田大学歴史館
0325	立教学院史研究 第20号	立教学院史資料センター
0328	井深梶之介日記 明治編	明治学院
0403	北海道大学大学文書館年報 第19号	北海道大学大学文書館
0408	東京大学文書館紀要 第42号	東京大学文書館
0408	東北大学史料館研究報告 第19号	東北大学史料館
0412	大学史紀要 第30号	明治大学史資料センター
0412	明治学院歴史資料館資料集 第20集	明治学院歴史資料館

0420	立教ディスプレイ vol.9	立教学院展示館
0805	成瀬記念館 2024	日本女子大学成瀬記念館
0918	キリスト教史学 第78集	キリスト教史学会
1226	立教の「未来」像 ―指導者たちの言葉から―	立教学院展示館
0125	フェリス女学院歴史資料館紀要 第77号	フェリス女学院

(3) 受贈資料

受領月日	刊行物名	発行元
1007	宮城の女性、続・宮城の女性 中山栄子著	宮原育子様
0124	宮城学院に連なる人々 ―ドイツ改革派の理念の継承	佐々木哲夫様

資料室運営委員会

委員長	佐々木哲夫	(宮城学院理事長・学院長)
委員	長井 祥子	(元宮城学院同窓会会長)
	色川 幸子	(宮城学院同窓会会長)
	高橋 陽一	(宮城学院女子大学教授)
	栗原 健	(宮城学院女子大学准教授)
	丸山 仁	(宮城学院中学校・高等学校教頭)
	本田 辰雄	(宮城学院事務局長)
	渡邊 秀俊	(宮城学院総務人事部総務人事課長)
	佐藤 亜紀	(宮城学院資料室職員)

宮城学院資料室年報『信・望・愛』2024年度 第30号

2025（令和7）年3月31日発行

編集 宮城学院資料室／宮城学院資料室運営委員会

発行 学校法人宮城学院

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

電話 022-279-1311（代表）

022-279-7765（資料室直通）

E-mail shiryoshitsu@mgu.ac.jp

印刷 株式会社東北プリント

〒980-0822 仙台市青葉区立町24-24

電話 022-263-1166
